1. すべての主体の連携･協働による環境立県

1.1環境教育･学習の推進

01 環境教育推進事業

施策

1　目的
　子どもたちの主体的な環境学習や具体的な実践活動を促すため、こどもエコクラブ活動を普及することにより、次世代を担う子どもたちの環境保全への意識醸成と環境活動の定着化に資する。

2　内容
（1）こどもエコクラブ活動への支援

補助事業	補助事業の内容	補助対象経費等
こどもエコクラブ活動支援補助金	こどもエコクラブの活動経費に対する市町村の補助事業に助成 • 補助対象経費の限度額：メンバー及びサポーターの人数に700円を乗じた額 • 補助率：1／2	講師謝金及び旅費、図書購入費、 資材及び消耗品費、使用料賃借料、 入館料、通信運搬費、保険料等 （食糧費は対象外）

（2）こどもエコクラブの結成支援
　県のホームページを通じて活動内容を紹介するなど、こどもエコクラブの広報、PRを充実させ、登録の推進を図る。

（3）こどもエコクラブ活動交流会の実施
　こどもエコクラブの交流会を開催し、事例発表や情報交換を通じて活動の活性化を図る。

3　背景、現状、及び課題
　平成18年度の補助制度創設以来、県内のクラブ登録数は順調に増加（平成21年度：12市町、80クラブ）
　こどもエコクラブ活動の広がりは見られるものの、市町村の中には未設置のところもあり、未だ活動に対する市町村間の温度差があるのが現状。
　今後とも市町村に、こどもエコクラブの活動に対する普及啓発、連携体制の強化を働きかける必要がある。

割り箸回収	交流会の様子（H22.2.28）

実績

1　こどもエコクラブ活動への支援
　こどもエコクラブの活動の活性化を推進するため、こどもエコクラブの活動経費に対し助成を行った。
　○こどもエコクラブ数　７０クラブ
　○メンバー・サポーター数　７，３０８人
　○補助金総額　２，１４１千円

２　こどもエコクラブの結成支援
　県のホームページを通じて活動内容を紹介するなど、こどもエコクラブをPRした。
　クラブ登録数は８１クラブ（平成２１年度末）から７０クラブ（平成２２年度末）に減少したが、メンバー・サポーター数は、６，３４５人（平成２１年度末）から７，３０８人（平成２２年度末）に増加した。

３　こどもエコクラブ活動交流会の実施
　県内で活動しているこどもエコクラブの交流会を開催し、事例発表や情報交換を通じて活動の活性化を図った。
　なお、こどもエコクラブ交流会は、平成２１年度から実施している。
（１）日時：平成２３年１月２８日（日）
（２）場所：北条農村環境改善センター大研修室（東伯郡北栄町田井７－１）
（３）内容
　○朗読会　「地球のひみつ」講師 日本海テレビアナウンサー
　○活動発表　６クラブ
　○作品展示　５クラブ

連絡先

生活環境部 環境立県推進課 環境立県戦略担当 電話0857-26-7439

参考URL

鳥取県環境立県推進課のwebサイトより
「環境教育情報」
http://www.pref.tottori.lg.jp/dd.aspx?menuid=17857

▲ページ上部に戻る
個人情報保護 | リンク | 著作権 | アクセシビリティ

鳥取県生活環境部環境立県推進課
住所　〒680-8570 鳥取県鳥取市東町一丁目220番地
電話　0857-26-7205　 ファクシミリ　0857-26-8194
E-mail　kankyourikken@pref.tottori.jp

1. すべての主体の連携・協働による環境立県

1.1環境教育・学習の推進

02 衛生環境研究所環境学習・活動支援事業

施策

1　事業の目的・効果
　持続可能な社会の構築に向けて、環境教育・学習の必要性は益々高まっており、当研究所は環境学習の拠点として、引き続き環境に関する情報や体験の機会を積極的に提供する。
　環境教育・学習の機会や場の提供により、県民への環境に関する知識の普及、環境保全意識の高揚を図る。

2　事業内容
1. 小・中学校等の総合学習等の支援
　教育現場のニーズに応じ、施設見学や出前により環境学習を支援する。
2. 住民参加型環境マップ調査
　東郷池及び周辺河川の水質について、県民の参加を募って調査を行い、マップ化する。
3. 施設公開イベントの開催
　施設の一日公開を行い、県民向けに研究所のPRと調査研究実績等の紹介を行う。
4. 環境学習用資機材の整備・貸出し
　環境測定キット、環境図書等の整備･貸出しを行う。

実績

●平成22年度実績

区分	実施日等	件数	参加人数	主な参加者等
施設見学	H22.4.14外	33	981	台湾嘉義県視察団、倉吉西高等学校、東郷中学校、湯梨浜町商工会女性部、八頭町福地白磯会、鳥取環境大学　等
環境教育・学習	H22.4.25 外	24	767	東郷小学校、ホタル観察会、立命館エコテクノ研究会、八頭高等学校　等
出前講座	H22.5.18 外	21	942	東郷湖親交会、中国電力、倉吉市倫理法人会、環境大学　等
環境フェスタ2010 （一日施設見学会）	H22.11.14	1	90	一般県民 【内容】 ・「環境マップ」報告会

				・環境ミュージカルの上演 ・エコ工作（LEDランプ作り） ・電気自動車の展示・試乗 ・ミニ水族館　ほか
東郷池湖上観察会	H22.8.22	1	30	小学生等一般県民 【内容】 ・湖水採取、CODパックテスト ・底質採取、ヘドロ観察 ・東郷池クイズ
環境マップ調査 （東郷池と周辺河川の水質調査 ）	H22.7～H22.9	12	274	小中学生等一般県民 【内容】 ・水質調査（CODパックテスト） ・水辺の生き物調査 ・五感チェック ・データの取りまとめ ・調査報告書の作成、提供

連絡先

生活環境部 衛生環境研究所 企画調整室 電話0858-35-5411

参考URL

鳥取県衛生環境研究所のwebサイトより
「環境学習」
http://www.pref.tottori.lg.jp/dd.aspx?menuid=42106
「施設見学・環境学習申込」
http://www.pref.tottori.lg.jp/dd.aspx?menuid=63472

鳥取県生活環境部環境立県推進課
住所　〒680-8570 鳥取県鳥取市東町一丁目220番地
電話　0857-26-7205　 ファクシミリ　0857-26-8194
E-mail　kankyourikken@pref.tottori.jp

現在の位置：環境立県推進課 → 鳥取県環境白書 → 平成22年度 →03 とっとり県民カレッジ事業

もどる

1. すべての主体の連携・協働による環境立県

1.1環境教育・学習の推進

03 とっとり県民カレッジ事業

施策

1 事業の目的
県民を生涯学習へいざなうため、そのきっかけづくりとして、総合的・体系的な学習機会や場の確保を行う。

2 事業内容
主催講座「未来をひらく鳥取学」において、「自然・環境」の科目を設定。

平成21年度の講座の様子

実績

「自然・環境」分野の講座を２回実施しました。

◆平成２２年９月４日（土）
（演題）「エネルギーと環境問題」
（講師）中国電力（株）鳥取支社　田中副支店長ほか
（場所）米子コンベンションセンター
（参加者数）１６７名

◆平成２２年９月１８日（土）

（演題）「地球温暖化対策の枠組みと国際交渉」
（講師）福井　宏一郎　氏
　　　　日本カーボンファイナンス（株）社長
　　　　（倉吉市出身、元ブルガリア大使）
（場所）倉吉未来中心
（参加者数）１３３名

連絡先

鳥取県教育委員会事務局 家庭・地域教育課 生涯学習振興係 電話0857-26-7944

参考URL

鳥取県教育委員会事務局家庭・地域教育課のwebサイトより
「とっとり県民カレッジ」
http://www.pref.tottori.lg.jp/dd.aspx?menuid=47333

▲ページ上部に戻る

鳥取県生活環境部環境立県推進課
住所　〒680-8570 鳥取県鳥取市東町一丁目220番地
電話　0857-26-7205　　ファクシミリ　0857-26-8194
E-mail　kankyourikken@pref.tottori.jp

1. すべての主体の連携・協働による環境立県

1.1環境教育・学習の推進

04 船上山少年自然の家・大山青年の家

施策

1 事業の目的
青少年を船上山や大山の自然に親しませ、自然の中での集団宿泊訓練等を通じて健全な育成を図る。

2 事業内容
キャンプ、ハイキング、カヌー、スキー、星座観察など、施設が行う主催事業

○「船上山少年自然の家」平成22年度開催事業一覧

事業名	期 日	対 象	募集人員	概 要
船上山さくら祭り	4月25日(日)	一般	1000名程度	万本桜咲く船上山で楽しいイベントがいっぱい！ 桜に囲まれて家族や友達と楽しい1日を過ごしましょう！
ファミリーハイキング	①5月9日(日) ②10月31日(日)	小・中学生と家族	80名	新緑と紅葉の船上山を、動植物などの自然解説を聞きながら、家族でのんびりハイキング！
ロッククライミング教室	①5月29日(土)～30日(日) ②9月25日(土)～26日(日)	小学5年生～中学生	各15名	高くそびえる船上山の屏風岩にﾁｬﾚﾝｼﾞ！頼れるのは自分の腕と足だけ。今、自分の力で30mの岩壁を乗り越えよう。
ちっちゃい探検隊	①6月19日(土)～20日(日) (※兼ｽｷﾙｱｯﾌﾟｾﾐﾅｰ③) ②11月20日(土)～21日(日) ③3月5日(土)～6日(日)	小学1年生～3年生	各36名	家族の元を離れてドキドキしながらのお泊り会。野山をかけめぐり、ワクワクするお泊りで、ちっちゃい冒険にチャレンジしよう！
山陰地区青少年教育指導者セミナー	6月29日(火)～30日(水)	青少年教育施設職員と学生	15名程度	山陰地区の青少年教育施設職員と学生が集まり、企画事業に関する情報や指導のノウハウを共通理解し、企画運営の充実を図る。
船上山の夏を楽しむ	7月17日(土)～18日(日)	小学4年生～中学生	40名	船上山の夏をﾀﾞｲﾅﾐｯｸに感じる活動を満喫しませんか。ﾀﾞﾑ湖の活動など、船上山の自然も人も丸

				ごと楽しもう！
キッズアドベンチャー	①ｽﾀｯﾌ事前研7/3～4 ②本キャンプ 8月1日(日)～6日(金) ③同窓会12/18～19	小学4年生～6年生 (同窓会は、家族も参加可)	36名	「隠岐の島から船上山へ110km！」雄大な自然の中、ｷｬﾝﾌﾟ生活をしながら船とﾛｰﾄﾞｳｫｰｸで後醍醐天皇の足跡をたどるﾀﾞｲﾅﾐｯｸなｱﾄﾞﾍﾞﾝﾁｬｰｳｫｰｸ。自分に挑戦する絶好のﾁｬﾝｽ！
体験活動指導者養成講座	8月17日(火)～18日(水)	学校職員、社会教育指導者 等	40名	体験学習法の目的・ねらい・効果についてプログラムを受講し、指導方法の修得や、コミュニケーション能力育成の指導力を向上させるチャンス！
ファミリーキャンプ	9月4日(土)～5日(日)	小・中学生とその家族	20家族	ダム湖活動･谷川探検などの親子選択活動、野外炊飯などの活動を親子で体験。親子で夏の船上山を満喫！
秋祭り生き生き船上山	10月2日(土)～3日(日)	一般	500名程度	船上山少年自然の家の感謝祭！ﾋﾟｻﾞ・ﾊﾞｰﾑｸｰﾍﾝ・ｱｲｽｸﾘｰﾑ作り、ｶﾇｰ体験、ｸﾗﾌﾄ、各ｹﾞｰﾑｺｰﾅｰなど大人から子どもまで楽しめます。
船上山の秋を楽しむ	11月6日(土)～7日(日)	小学4年生～中学生	40名	船上山の秋を家族や友だちと満喫しませんか。野外炊飯などの活動を通じて新しい友達をつくるチャンス！
船上山ウィンターキャンプ	1月22日(土)～23日(日)	小学5年生～中学生	25名	真冬の船上山で、ｷｬﾝﾌﾟ生活をしながら、ｿﾘ遊びや歩くｽｷｰ・ｽﾉｰｼｭｰでの船上山登山など、雪山遊びのﾌﾙｺｰｽ！雪と自分がｸﾞｯと近くなることまちがいなし！
船上山ウィンターフェスティバル	2月5日(土)～6日(日)	小・中学生と家族及び一般	70名	銀世界の中で雪遊び。ｿﾘ遊びや歩くｽｷｰ・ｽﾉｰｼｭｰﾊｲｷﾝｸﾞ等、冬の船上山を満喫。みんなで雪の森や林と仲良くなろう！
ナンカレー祭り	2月20日(日)	小・中学生と家族及び一般	60名	真冬の船上山で、心も体も温まるナンカレー作りを通して、家族とのふれあいや参加者との交流を深める。
早春の船上山を楽しむ	3月12日(土)～13日(日)	小・中学生と家族及び一般	60名	今年度の船上山主催事業に抽選でもれた方々を中心に、早春の船上山を思いっきり楽しんでもらうとともに当施設の活動を広く知ってもらう。

○「大山青年の家」平成22年度開催事業一覧

事業名	期　日	対象・定員	内容・目的
春の親子フェスティバル	5月　2日（日） 日帰り	どなたでも 定員なし	様々な体験コーナーや親子で楽しめるゲームがたくさんあります。休日のひとときを青年の家で楽しみましょう。
大山ファミリー登山	5月　9日（日） 日帰り	小学3年生以上の家族50人	家族で励まし合って大山山頂を目指します。新緑の大山で様々な発見がありますよ。
親子エンジョイカヌー	①5月22日（土） ②5月23日（日） 両日とも日帰り	小学生以上の親子 両日66人ずつ	伝説の赤松の池で，親子でカヌーを楽しみます。
はじめての冒険	6月12日（土）	小学3～4年生	小学校中学年を対象にした

（中学年）	〜13日（日） 1泊2日	36人	キャンプ。
親子ふれあいキャンプ	7月　3日（土） 〜　4日（日） 1泊2日	小学生以上の親子100人	テント設営，野外炊事，キャンプファイヤー，カヌー等，親子でいきいき体験活動！
生涯学習実践道場	7月　9日（金） 日帰り	生涯学習関係者 青年、一般 100人	生涯学習実践者の発表を聞き、今後の生涯教育の実践に役立てましょう。
大山わくわく探検隊	8月　2日（月） 〜　6日（金） 4泊5日	小学校5年生 〜中学生 36人	自然のすばらしさを体験すると共に，生きる力を養います。4日目は大山山頂小屋に宿泊し，日の出を見ます。
体験活動指導者養成事業 ①（前期） ②（後期）	①　8月19日（木） 〜20日（金） 1泊2日 ②11月24日（水） 〜11月25日（木） 1泊2日	教員、社会教育指導者、教職をめざす学生等 各40人ずつ	PAプログラムの実践的体験、講習を通しての指導者育成事業。
はじめての冒険 （低学年） ①（夏） ②（秋）	①　8月28日（土） 〜29日（日） 1泊2日 ②10月30日（土） 〜10月31日（日） 1泊2日	①②小学1〜2年生 各36人ずつ	小学校低学年を対象にした初心者向けのキャンプ。
秋祭り	10月　9日（土） 〜10日（日） 1泊2日	どなたでも 日帰り参加は定員なし 宿泊参加は165人	青年の家を県民の方に開放します。 様々なゲームや体験コーナーを楽しんでください。初日の夜はキャンプファイヤーで盛り上がるよ！
親子エンジョイスキー	①1月15日（土） ②1月16日（日） 両日とも日帰り	小学1〜4年生の親子 両日100人ずつ	青年の家特設ゲレンデでスキーの基礎を学び，親子で楽しみます。初心者大歓迎です。
歩くスキーのつどい	2月5日（土） 〜6日（日） 1泊2日	中学生以上 50人	クロスカントリースキーの基礎を学び,冬の大山をツーリングして楽しみます。アニマルトレッキングも楽しいよ。

実績

【船上山少年自然の家】
施設来所者数　27，674人
主催事業実施状況：「船上山さくら祭り」など　15事業を実施

＜船上山の夏を楽しむ＞　　　＜キッズアドベンチャー＞

＜ちっちゃい探険隊＞

＜船上山ウィンターフェスティバル＞

【大山青年の家】
　施設来所者数　３１，７７９人
　主催事業実施状況:「春の親子フェスティバル」など　１２事業を実施

＜大山わくわく探険隊＞

＜体験活動指導者養成事業＞

＜秋祭り＞

＜親子エンジョイスキー＞

連絡先

鳥取県教育委員会事務局 家庭・地域教育課 電話0857-26-7519
県立船上山少年自然の家（電話0858-55-7111）
県立大山青年の家（電話0859-53-8030）

参考URL

鳥取県立船上山少年自然の家のwebサイトより
「鳥取県立船上山少年自然の家」
http://www.pref.tottori.lg.jp/dd.aspx?menuid=37749

大山青年の家のwebサイトより
「大山青年の家」
http://www.pref.tottori.lg.jp/dd.aspx?menuid=4308

▲ページ上部に戻る
個人情報保護 | リンク | 著作権 | アクセシビリティ

鳥取県生活環境部環境立県推進課
住所　〒680-8570 鳥取県鳥取市東町一丁目220番地
電話　0857-26-7205　ファクシミリ　0857-26-8194
E-mail　kankyourikken@pref.tottori.jp

1. すべての主体の連携・協働による環境立県

1.1環境教育・学習の推進

05 氷ノ山自然ふれあい館響きの森

施策

氷ノ山自然ふれあい館では、氷ノ山の豊かな自然について新鮮な方法で魅力的に展示、紹介しているほか、氷ノ山自然観察会やフィールドゲーム、自然観察クイズラリーなどの野外活動、草木染めや押し花アートなどの創作体験をはじめ、様々な自然体験プログラムで氷ノ山の自然の魅力をたっぷり楽しむことができる。

〇平成22年度イベント内容一覧（抜すい）【詳しくはホームページ等で確認】

イベント名	期日	定員	料金	申込
〇新緑祭「いつでもつくれるコーナー『かざぐるま』」 〇クルー企画「地球をわかちあおうよ！～動植物画展～」 など	4/29～5/9	毎日30名ほか	無料ほか	不要（先着順）ほか
〇新緑祭「木のマイ箸づくり」・「木の年度細工」など	5/1～5/3	40名ほか	200円ほか	不要（先着順）ほか
〇氷ノ山自然観察会「新緑の氷ノ山」	5/8	なし	100円	不要（10名以上の団体での参加は3日前までに連絡必要）
〇森の幼稚園	5/23	20名	500円	3日前（先着順）
〇氷ノ山自然観察会「地形・地質の観察会」	6/6	なし	100円	不要（10名以上の団体での参加は3日前までに連絡必要）
〇県立博物館共催「学芸員と楽しむ『鳥取砂丘』」	6/20	30名	無料	5/27～博物館へ
〇誕生祭「体験コーナー」・「響きの森クイズラリー（ガイド付き）」など	7/17～7/19	なし	無料ほか	不要
〇いつでもつくれるコーナー「小枝キーホルダー」 〇展示「氷ノ山の生物多様化～ぼくらはみんないきて	7/20～8/31	なし	200円（展示無料）	不要

いる～」				
○さとう博士の昆虫観察「昆虫キャンプ」	7/20～8/31	30名	100円	7日前（先着順）
○お盆企画創作体験「昆虫をつくろう」	8/13～8/15	60名	150円	不要（先着順）
○スペシャル観察会「田中昭彦先生と歩く植物観察」	9/4	20名	500円	3日前
○氷ノ山自然観察会「秋の氷ノ山登山」	9/19	30名	100円	不要（先着順）
○県立博物館共催「おちばの中のモンスターをさがそう！in氷ノ山」	10/16	20名	無料	前日まで（先着順）
○秋企画「ネイチャーゲーム」	10/31	なし	100円	不要（10名以上の団体での参加は3日前までに連絡必要）
○氷ノ山自然観察会「晩秋の氷ノ山登山」	11/3	30名	100円	必要（先着順）
○創作体験「クリスマス飾りをつくろう」	11/20,21,23	毎日30名	200円	不要（先着順）
○県立博物館共催「はじめてのバードウォッチングin湖山池」	12/4	20名	無料	11/11～博物館へ
○氷ノ山自然観察会「雪上観察」	1/15	なし	100円	不要（10名以上の団体での参加は3日前までに連絡必要）
○雪と遊ぼう	1/16	60名	大人1,200円、4歳～中学生700円	7日前（先着順）
○雪と遊ぼう	2/20	60名	大人1,200円、4歳～中学生700円	7日前（先着順）
○氷ノ山自然観察会「雪上観察」	3/12	なし	100円	不要（10名以上の団体での参加は3日前までに連絡必要）

実績

○平成22年度イベント実績等 【詳しくはホームページ参照】
　氷ノ山自然ふれあい館管理状況等の公表 http://www.pref.tottori.lg.jp/dd.aspx?menuid=31521

連絡先

生活環境部 公園自然課 自然公園担当 電話0857-26-7200
氷ノ山自然ふれあい館　響きの森（電話0858-82-1620）

参考URL

氷ノ山自然ふれあい館のwebサイトより
http://www.hibikinomori.gr.jp/

1. すべての主体の連携・協働による環境立県

1.1環境教育・学習の推進

06 小・中学校における環境教育の取組

施策

1. 各教科等における取組

(1) 総合的な学習の時間で、「環境」をテーマにした探究活動に積極的に取り組み、地域に根ざした体験活動を重視した実践を展開する。

（例） 地域の自然体験・環境調べ、地域の環境保護活動（水質調査活動や希少植物の保護等）リサイクル活動
地球規模の環境の学習、資源・エネルギーの学習、ビオトープづくり　等

(2) 全ての小・中学校において、社会科、理科、生活科、家庭科、技術・家庭科などの教科学習で、環境に関わる内容を学年に応じて系統的に学習する。

(3) 各学校で「環境教育全体計画」を作成し、学校体制で環境教育・環境学習を推進する。

【全体計画の作成状況】（平成21年度末現在） 小学校：81校（58.3%） 中学校：19校（31.7%）

2. 児童会活動・生徒会活動、学級活動等における児童・生徒の自主的な環境に配慮した活動

(1) 鳥取県版環境管理システム（TEASⅢ種）認証を取得し、各学校で計画した「環境に配慮した活動」を実施する。

【TEASⅢ種の取得状況】（平成21年度末現在） 小学校：19校（13.7%） 中学校：9校（15.0%）

(2) 児童会や生徒会の呼びかけで学校全体で特色のある活動に取り組んだり、児童・生徒が学級活動として自主的に環境に配慮した活動に取り組んだりする。

（例） 身近な動植物の飼育栽培活動（校舎のグリーンカーテン化　等）
校舎内外や地域の環境美化・ごみ収集活動
学校でのゴミの分別や削減
学校での省エネルギー活動　等

実績

1　環境をテーマにした学習（教科、「総合」等を含む）の実施状況
（実践例：小学校）

・身近な動植物の飼育栽培
・地域の自然体験・環境調べ
・環境美化・ごみ収集活動
・学校でのごみの分別や削減（等）

（実践例：中学校）
・環境美化・ごみ収集活動
・学校でのごみの分別や削減
・学校での省エネルギー活動（等）

２　環境教育全体計画作成数（作成率）
全体計画　小学校　８４校（６０．４％）　中学校２４校（４０．０％）

３　TEASⅢ種の取得校（取得率）
小学校　２１校（１５．１％）　中学校１１校（１８．３％）

連絡先

鳥取県教育委員会事務局 小中学校課 指導係 電話0857-26-7915

参考URL

鳥取県教育委員会事務局小中学校課
http://www.pref.tottori.jp/kyouiku/syoucyu/sho-chu.htm

▲ページ上部に戻る

鳥取県生活環境部環境立県推進課
住所　〒680-8570 鳥取県鳥取市東町一丁目220番地
電話　0857-26-7205　ファクシミリ　0857-26-8194
E-mail　kankyourikken@pref.tottori.jp

1. すべての主体の連携・協働による環境立県

1.1環境教育・学習の推進

07 県立高等学校での環境教育の推進

施策

1 事業の目的
（1）県立高等学校のTEASⅡ種全校取得を目指す。

（2）各学校が企画した環境教育推進活動を支援する。

2 事業内容
（1）県立高等学校のTEASⅡ種全校取得
県立高等学校のTEASⅡ種全校取得に向けて、毎年2校の新規認定を目指す。

（2）環境教育推進活動への支援
県立高等学校裁量予算学校独自事業における環境教育に係る事業を促進する。

〇平成22年度環境に関する学科、コース、系列の設置

学校名	学科、コース、系列	環境に関連した特色ある科目
鳥取工業高等学校	建設工学科	地球環境化学
鳥取湖陵高等学校	緑地デザイン科	地球環境、環境制御
鳥取緑風高等学校	総合学科	フィールドワーク
青谷高等学校	総合学科（自然科学系列）	生活環境、地球環境
智頭農林高等学校	生活環境科	環境科学基礎
倉吉農業高等学校	環境科学科、環境土木科	環境科学基礎、環境保全、環境デザイン、生活環境
米子高等学校	総合学科（環境科学系列）	環境科学、地球環境化学
米子南高等学校	生活文化科（環境文化コース）	生活環境
米子工業高等学校	都市環境科（環境化学コース）	環境化学、地球環境化学、応用環境化学、環境安全化学
日野高等学校	総合学科（アグリライフ系列）	環境科学、エコライフ

実績

TEAS Ⅱ種新規認定校　2校

日野高等学校（H22.4.19）
米子白鳳高等学校（H23.3.25）

連絡先

鳥取県教育委員会事務局 高等学校課 指導係 電話0857-26-7917

参考URL

鳥取県教育委員会事務局高等学校課のwebサイトより
高等学校課　県立高等学校における環境教育の取組
http://www.pref.tottori.lg.jp/dd.aspx?menuid=95557

▲ページ上部に戻る
個人情報保護 | リンク | 著作権 | アクセシビリティ

鳥取県生活環境部環境立県推進課
住所　〒680-8570 鳥取県鳥取市東町一丁目220番地
電話　0857-26-7205　　ファクシミリ　0857-26-8194
E-mail　kankyourikken@pref.tottori.jp

現在の位置：環境立県推進課 → 鳥取県環境白書 → 平成22年度 →08 米国バーモント州への青少年派遣

もどる

1．すべての主体の連携・協働による環境立県

1.1環境教育・学習の推進

08 米国バーモント州への青少年派遣

施策

1　事業の目的
　教育、環境、文化といった分野を基に現地の青少年等と交流を行うことで、未来を背負う青少年の国際感覚を養い、視野を広げるとともに、豊かな人間性の形成を目指す。同時にバーモント州との更なる交流の促進を図る。

2　事業の内容
　バーモント州内の民間環境交流団体GATPと連携の上、県内の高校生等を2週間程度派遣し、ホームステイをしながら、現地の高校生と共にフィールドスタディを中心に環境学習や学校交流を展開する。
　派遣時期等（予定）　平成23年3月　派遣人数　生徒15名程度

3　生徒の募集方法
　対象となる学校を通じて募集

実績

（1）派遣期間
　平成23年3月18日（金）から29日（火）、12日間

（2）派遣人数
　県内高校生15名、鳥取環境大学生2名、計17名

（3）交流内容
　ア　環境学習
環境問題に積極的に取り組んでいる企業、地方自治体、環境関連施設、環境保護地域等を視察するとともに、環境に関する課題にバーモンド州の学生とペアになり取り組み、その成果を発表しあった。 例）自然保護、水質汚

染、企業の環境等への取り組み、自然エネルギー（風力発電）等

イ　文化交流
地域の文化遺産や博物館等を視察し、米国の文化や歴史に関する見聞を広めた。また、現地で開催されていた「日本祭」に参加し、鳥取県の魅力を伝えるとともに米国人の日本に対する興味や認識を理解する機会を得た。

ウ　学校交流
地元高校の授業に参加したり、生徒の家庭にホームステイをし米国の家庭生活を体験した。

連絡先

文化環境局 交流推進課 交流支援担当　電話0857-26-7079

参考URL

文化観光局「国際交流」のwebサイトより
http://www.pref.tottori.lg.jp/dd.aspx?menuid=6140

鳥取県生活環境部環境立県推進課
住所　〒680-8570 鳥取県鳥取市東町一丁目220番地
電話 0857-26-7205　ファクシミリ 0857-26-8194
E-mail kankyourikken@pref.tottori.jp

1. すべての主体の連携・協働による環境立県

1.2環境配慮活動の推進

01 鳥取県版環境管理システム（TEAS）普及事業

施策

1　目的
　鳥取県版環境管理システム審査登録制度（愛称：TEAS（テス））の普及により、県内の事業者、団体等の各種組織における環境配慮活動を推進する。

2　事業の内容
　事業者等が構築して取り組む環境管理システムのTEAS規格への適合性を審査し、登録する。
TEAS規格の種類等については、次表のとおり。

○鳥取県版環境管理システムの種類

	TEAS I 種	TEAS II 種	TEAS III 種
対象	高度な環境管理を行う企業等	I 種以外の企業等、高等学校	家庭・地域、小・中学校・特別支援学校、店舗・小規模事業所
登録	鳥取県の認定する審査登録機関	鳥取県	鳥取県
審査	同　上	鳥取県の認定する審査登録機関へ委託	鳥取県
経費	有　料	無　料	無　料
有効期間	1期3年（更新可）	1期3年（更新可）	1期3年（更新可）
その他	ISO14001へ移行を目指す企業等に有効	ほとんどの組織で導入可能な環境管理システムとして有効	EMSを体験し、環境問題への理解を深めるために有効

【I 種】
平成19年度から、I 種の審査登録については、鳥取県の認定する審査登録機関が有料で実施。（新規に登録する際等の事業者等の負担軽減のため、補助制度を設けていたが、平成21年度末をもって廃止とした。）

【II 種】
平成19年度から、審査を鳥取県の認定する審査登録機関に委託。審査登録機関との連携を図りながら、円滑な審査登録に努める。

【III 種】
店舗・小規模事業所、家庭・地域での取り組みを推進。学校については県・市町村教育委員会と連携して普及に

努める。

【支援制度】
○TEASに取り組む事業所を対象として、取り組みを支援するTEASサポーター制度を実施
○TEASに取り組む学校については、環境学習等を支援するため、とっとり環境教育・学習アドバイザーを派遣
○鳥取県環境推進企業協議会会員企業によるTEAS取組高校の見学受入

実績

平成22年度実績
平成22年度は、新たに Ⅰ種1件、Ⅱ 種9件、Ⅲ 種66件の計76件の登録を行った。Ⅰ種の増加数はなく、Ⅱ種の増加数については例年並みであったが、Ⅲ種については、商工団体、各種組合を通じた取得の働きかけを行い、登録者数が増加した。

	平成21年度末登録者数	平成22年度増加数	平成22年度辞退数	平成22年度末登録者数
Ⅰ種	21	1	1	21
Ⅱ種	51	9	5	55
Ⅲ種（家庭・地域）	274	0	0	274
Ⅲ種（学校）	37	3	0	40
Ⅲ種（小規模事業所）	300	63	34	329
合計	683	76	40	719

<TEAS登録者名簿>
Ⅰ種名簿　Ⅱ種名簿　Ⅲ 種名簿（地域・家庭、学校、小規模事業所）

連絡先

生活環境部 環境立県推進課 ISO担当 電話0857-26-7874,7875

参考URL

鳥取県環境立県推進課のwebサイトより
「TEAS（鳥取県版環境管理システム）審査登録制度」
http://www.pref.tottori.lg.jp/dd.aspx?menuid=17890

鳥取県生活環境部環境立県推進課
住所　〒680-8570 鳥取県鳥取市東町一丁目220番地
電話　0857-26-7205　ファクシミリ　0857-26-8194
E-mail　kankyourikken@pref.tottori.jp

もどる

1．すべての主体の連携・協働による環境立県

1.2環境配慮活動の推進

02 環境にやさしい県庁率先行動計画の推進

施策

1 事業の目的
県が、自らが一つの事業者・消費者としての立場から環境に配慮した事務及び事業を率先して実践し、環境への負荷の低減を図るとともに、市町村、事業者、県民の行う自主的な取組を促進する。

2 事業の内容
平成20年4月に「環境にやさしい県庁率先行動計画（第3期）」を策定した。本計画は、地球温暖化対策の推進に関する法律に基づく地方公共団体実行計画として位置付けており、この計画に基づき、県のすべての機関が、二酸化炭素排出量の削減、ゴミの減量化、グリーン購入等の環境に配慮した事務に取り組んでいるところであり、 省エネ法の改正等にあわせて、計画の対象組織等の見直しをはかり、平成23年8月に「第4期　環境にやさしい県庁率先行動計画」として改訂を実施
また、グリーン購入については、「鳥取県グリーン購入基本方針」（H13.7策定）に基づき、毎年度調達方針を定め、判断基準に適合する物品等の優先購入を推進。

＜環境にやさしい県庁率先行動計画の数値目標＞

温室効果ガス排出量の削減
平成27年度までに、対象範囲の温室効果ガス排出量を、基準年度（平成21年度）比で8％削減する。（平成21年度（基準年）排出量：52，455tCO2）
コピー用紙購入量
平成27年度までに、対象範囲の用紙購入量を、基準年度（平成21年度）比で10％削減する。（平成21年度（基準年）排出量：196，268kg）
廃棄物の減量化
平成27年度までに、対象範囲の可燃ゴミの排出量を、基準年度（平成21年度）比で20％削減する。（平成21年度（基準年）排出量：519，149kg）
グリーン購入の推進
鳥取県グリーン購入基本方針により策定する調達方針に定める調達目標「用途上やむを得ない理由がある場合を除いて、判断基準に適合しない物品の購入を一切行わない」を達成する

＜環境にやさしい県庁率先行動計画の達成状況＞

温室効果ガス排出量の削減

目標 平成27年度までに、対象範囲の温室効果ガス排出量を、基準年度(平成21年度)比で8%削減する。(平成21年度(基準年)排出量:52, 455tCO2) 平成22年度実績　55, 311tCO2 平成21年度(基準年)排出量:52, 455tCO2 5. 4%増加 目標未達成
コピー用紙購入量
平成27年度までに、対象範囲の用紙購入量を、基準年度(平成21年度)比で10%削減する。(平成21年度(基準年)排出量:196, 268kg) 平成22年度実績　185, 618kg 平成21年度(基準年)排出量:196, 268kg 5. 4%削減 概ね目標を達成
廃棄物の減量化
平成27年度までに、対象範囲の可燃ゴミの排出量を、基準年度(平成21年度)比で20%削減する。(平成21年度(基準年)排出量:519, 149kg) 平成22年度実績　435, 014kg 平成21年度(基準年)排出量:519, 149kg 16. 2%削減 概ね目標を達成
グリーン購入の推進
鳥取県グリーン購入基本方針により策定する調達方針に定める調達目標「用途上やむを得ない理由がある場合を除いて、判断基準に適合しない物品の購入を一切行わない」を達成 不適切な事例はISO内部監査、外部監査等においても確認されておらず、概ね目標を達成

連絡先

生活環境部 環境立県推進課 ISO担当 電話0857-26-7874,7875

参考URL

鳥取県環境立県推進課のwebサイトより
「環境にやさしい県庁率先行動計画」
http://www.pref.tottori.lg.jp/dd.aspx?menuid=65557
「グリーン購入に関する情報」
http://www.pref.tottori.lg.jp/dd.aspx?menuid=17855

▲ページ上部に戻る

個人情報保護 | リンク | 著作権 | アクセシビリティ

鳥取県生活環境部環境立県推進課
住所　〒680-8570 鳥取県鳥取市東町一丁目220番地
電話　0857-26-7205　　ファクシミリ　0857-26-8194
E-mail　kankyourikken@pref.tottori.jp

現在の位置：環境立県推進課 → 鳥取県環境白書 → 平成22年度 →03 鳥取県環境管理システムの運用～県庁ISO14001認証取得～

もどる

1. すべての主体の連携・協働による環境立県

1.2環境配慮活動の推進

03 鳥取県環境管理システムの運用～県庁ISO14001認証取得～

施策

1 事業の目的
県の事務・事業に係る環境負荷の低減、環境法令等の順守、環境施策の推進等を図るため、環境管理システムの国際規格であるISO14001に沿ったシステムを運用し、継続的な改善を進める。

2 事業の内容
平成12年12月に本庁知事部局でISO14001認証取得後、平成17年度まで年次的に適用範囲を拡大。平成21年4月現在、本庁（警察本部含む。）及び各総合事務所（東部総合事務所福祉保健局及び西部総合事務所福祉保健局を含む。）で取り組み、認証を継続。

【取組内容】
（1）オフィス活動における環境配慮の推進（共通）
（2）公共事業・イベント等における環境配慮の推進（該当課）
（3）環境基本計画に沿った環境施策の推進（該当課）
（4）環境法令等の順守
平成19年度から、県民オブザーバーの参加による内部環境監査を実施。

【共通のオフィス目標】
○二酸化炭素排出量の削減

本庁、東部総合、中部総合、西部総合、日野総合のそれぞれのサイトで独自に設定している目標を達成できていない。
ISOサイト全体で見ると、平成22年度は平成21年度に比べて12．8%の増加。

○可燃ごみの削減

すべてのサイトで独自に設定している目標を達成した。
ISOサイト全体で見ると、平成22年度は平成21年度に比べて23.5%の削減。

○コピー用紙の削減

八頭のサイトで独自に設定している目標を達成できなかった。
ISOサイト全体で見ると、平成22年度は平成21年度に比べて5．4%の削減。

【各サイトの個別目標】

平成22年度は全82項目の目標を設定し、19項目において達成ができなかった。

【法令遵守】

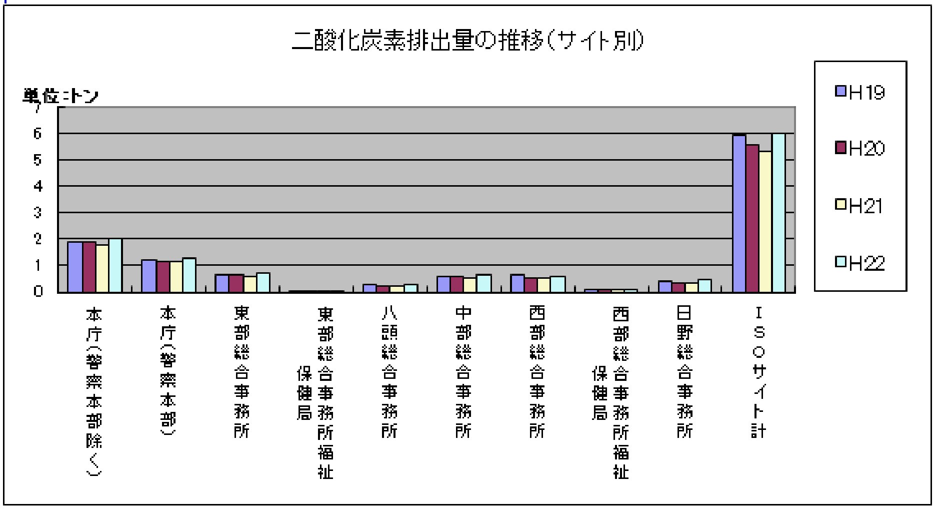
平成22年度に、法令義務違反が1件確認された。
本庁サイトにおいて産業廃棄物の排出量を東部総合事務所へ報告すべきものを失念していたもの。

＜二酸化炭素排出量の削減＞

■二酸化炭素排出量実績の推移（H19-H22）

単位(t)

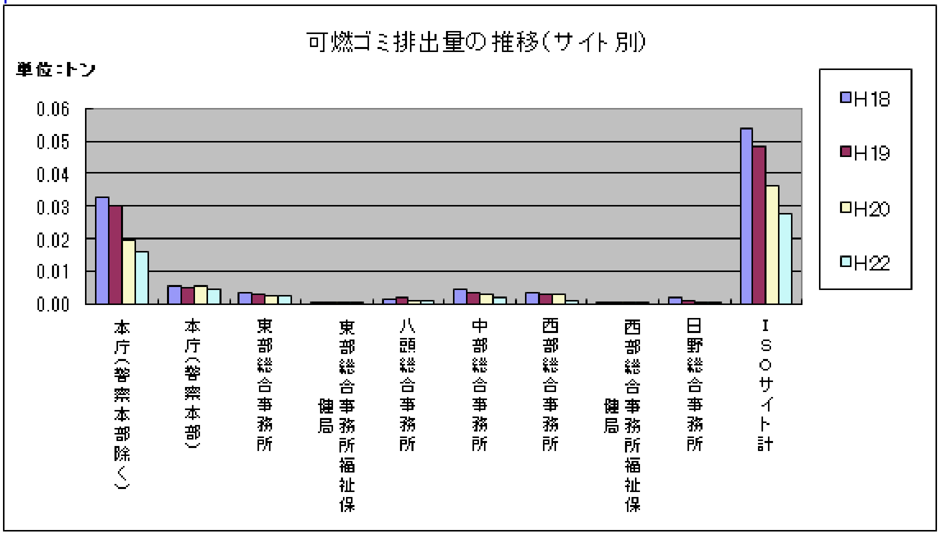
	H19	H20	H21	H22	H22目標値（参考）	目標達成状況
本庁（警察本部除く）	1,905	1,884	1,764	1,994	2,914	×
本庁（警察本部）	1,215	1,180	1,170	1,247		
東部総合事務所	654	630	569	686	654	×
東部総合事務所福祉保健局	61	61	63	57	61	○
八頭総合事務所	290	246	231	256	282	○
中部総合事務所	595	576	538	638	536	×
西部総合事務所	661	547	541	586	537	×
西部総合事務所福祉保健局	117	114	113	118	121	○
日野総合事務所	426	350	349	439	409	×
ISOサイト計	5,924	5,588	5,338	6,021	5,514	



＜ゴミの減量化＞

■可燃ゴミ排出量の推移（H19–H22）

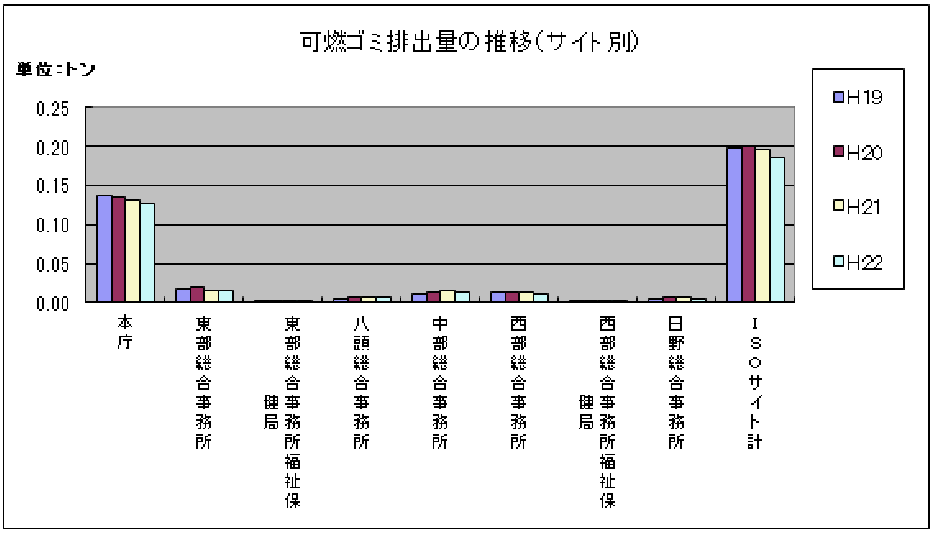
	H18	H19	H20	H22	H22目標値（参考）	目標達成状況
本庁（警察本部除く）	32.44	30.22	19.45	16.17	24.72	○
本庁（警察本部）	5.59	5.19	5.41	4.33		
東部総合事務所	3.69	3.07	2.55	2.51	3.10	○
東部総合事務所福祉保健局	0.60	0.50	0.29	0.29	0.58	○
八頭総合事務所	1.66	2.13	1.21	0.73	1.60	○
中部総合事務所	4.34	3.25	3.18	2.19	3.17	○
西部総合事務所	3.42	2.95	3.15	0.79	2.89	○
西部総合事務所福祉保健局	0.39	0.28	0.39	0.21	0.28	○
日野総合事務所	1.82	0.86	0.54	0.45	0.82	○
ISOサイト計	53.95	48.45	36.17	27.67	37.16	



＜コピー用紙購入量の削減＞

■コピー用紙排出量の推移（H19–H22）

	H19	H20	H21	H22	H22目標値（参考）	目標達成状況
本庁	137.67	136.08	131.57	126.97	130.24	○
東部総合事務所	18.64	19.75	15.92	16.27	16.91	○
東部総合事務所福祉保健局	2.23	2.01	2.90	2.10	2.16	○
八頭総合事務所	5.47	6.46	6.79	6.55	6.45	×
中部総合事務所	11.17	13.86	15.23	12.85	13.84	○
西部総合事務所	14.30	13.07	14.43	12.24	13.70	○
西部総合事務所福祉保健局	3.30	3.21	3.20	3.19	3.20	○
日野総合事務所	5.70	6.06	6.24	5.47	5.47	○
ISOサイト計	198.48	200.50	196.28	185.64	191.97	



連絡先

生活環境部 環境立県推進課 ISO担当 電話0857-26-7874,7875

参考URL

鳥取県環境立県推進課のwebサイトより
「ISO14001の取組状況」
https://www.pref.tottori.lg.jp/dd.aspx?menuid=64278

▲ページ上部に戻る
個人情報保護 | リンク | 著作権 | アクセシビリティ

鳥取県生活環境部環境立県推進課
住所 〒680-8570 鳥取県鳥取市東町一丁目220番地
電話 0857-26-7205 ファクシミリ 0857-26-8194
E-mail kankyourikken@pref.tottori.jp

1. すべての主体の連携・協働による環境立県

1.2環境配慮活動の推進

04 衛生環境研究所ISO14001認証維持事業

施策

1 事業の目的・効果
〇衛生環境研究所の調査研究・行政検査、事務等に伴う環境負荷の削減とコスト削減
〇環境目的達成状況等を広く公開することによる試験研究機関としての信頼性確保、県民への環境意識の普及啓発

2 事業内容
〇衛生環境研究所が平成15年度に取得した環境マネジメントシステムの国際規格であるISO14001の認証の登録を継続する

実績

環境目的	指標項目	平成22年度目標値	平成22年度実績値
グリーン購入の推進	グリーン購入調達指針が定める分野、品目に係る調達率	100%	100%
二酸化炭素排出量の削減	二酸化炭素換算係数により算出した二酸化炭素量	470，000kg	468，590kg
廃棄物の減量化	可燃ゴミの排出量	1，100kg	668kg
資源利用の節約	コピー用紙の使用量	830kg	572kg
開かれた研究所の構築	環境教育・学習の参加者数及び施設見学者数	3，300人	2，828人
	環境教育・学習支援活動の土日祭日開催日数	10日以上	12日
試験研究活動に関わる環境	薬品の購入量	780kg	789kg
	ガラス器具等の購入量	90kg	71kg
	洗剤の購入量	84kg	75kg
	試薬ビン類のリサイクル率	95%以上	134%
		COD月1回、COD以外	COD月1回、COD以外

負荷の低減	排水の水質検査実施率	年2回 100%	年2回 100%
	排水処理施設保守管理率	100%	100%
	スクラバーの保守管理率	湿式週1回、乾式月1回 100%	湿式週1回、乾式月1回 100%
特別管理産業廃棄物の管理の徹底	廃棄物保管庫搬出時の点検率	100%	100%
持続可能な社会に貢献する調査研究の推進	研究成果発表の機会数	69回以上	85回

【目標基準値】:平成19年度～20年度の排出実績又は購入実績の平均値

連絡先

生活環境部 衛生環境研究所 企画調整室 電話0858-35-5411

参考URL

鳥取県衛生環境研究所のwebサイトより
「環境への取り組み(ISO14001)」
http://www.pref.tottori.lg.jp/dd.aspx?menuid=39348

鳥取県生活環境部環境立県推進課
住所　〒680-8570 鳥取県鳥取市東町一丁目220番地
電話　0857-26-7205　　ファクシミリ　0857-26-8194
E-mail　kankyourikken@pref.tottori.jp

1．すべての主体の連携・協働による環境立県

1.2環境配慮活動の推進

05 みんなで取り組む「わが家のエコ録」推進事業

施策

1 事業の目的
普段の生活でよく使われる携帯電話やパソコンを利用して環境家計簿をつけることができる「わが家のエコ録」システムを展開することにより、二酸化炭素排出量がグラフで確認できたり、エコアイデアを掲載・閲覧できたりすることで、家庭での環境配慮活動を支援する。

2 事業の内容
サイトの管理を行うとともに、システムのPR協賛企業の募集等を行う。

【サイト管理】
・お知らせ情報：エコイベント情報等を掲載する。
・エコアイデア：利用者から投稿のあったエコアイデアの内容を管理者画面で確認し、公開する。
・得点情報：協賛企業が提供するサービスの情報等を掲載する。
・メール送信：毎月、利用者に電気使用量等の実績入力時期が近づいていることを知らせるメールを送る。その他、必要があればメールを送る。

実績

平成22年度は、新たに93件の登録を行った。平成22年3月末時点までの登録件数は155件で、若干の増加は見られるものの、周知が不十分であったため、目標登録件数300件には届かなかった。

平成21年度末 登録件数	平成22年度 増加数	平成22年度末 登録件数
62	93	155

〈参考〉「環境家計簿記録webシステム「わが家のエコ録」」 は、平成20年度若手サブチームの提案事業である「みんなで取り組む「わが家のエコ録」推進事業」 として平成21年12月より制作を開始した。

連絡先

生活環境部 環境立県推進課 ISO担当 電話0857-26-7875

参考URL

鳥取県環境立県推進課のwebサイトより
「鳥取県環境家計簿『わが家のエコ録』」
http://www.ecoroku.jp/

▲ページ上部に戻る

個人情報保護 | リンク | 著作権 | アクセシビリティ

鳥取県生活環境部環境立県推進課
住所　〒680-8570 鳥取県鳥取市東町一丁目220番地
電話　0857-26-7205　　ファクシミリ　0857-26-8194
E-mail　kankyourikken@pref.tottori.jp

1. すべての主体の連携・協働による環境立県

1.3環境立県県民運動の推進

01「環境先進県に向けた次世代プログラム」の推進

施策

1 目的
各主体ごとに取り組んでいただきたい内容を具体的に明示した、「環境先進県に向けた次世代プログラム」をお示しすることにより、地球温暖化防止や循環型社会づくりなど、わが国をリードする環境先進県を目指し、県民の皆様との協働による環境活動を一層推進する。

2 内容
○プログラムの項目
1 県民との協働による環境活動の新たな展開
1.1 環境日本一とっとり県民運動の展開
県民や事業者などすべての主体の参加と協働による、環境に配慮した取り組みを推進します。
1.2 環境教育・学習の推進
環境教育の参加者数を20万人以上とするとともに、県内の全市町村で1つ以上のこどもエコクラブを登録します。
1.3 環境に配慮した活動を持続的に行うための仕組みの普及
鳥取県版環境管理システム(TEAS)の取得を促進し、取得数を700以上とします。
県内の全小中学校、全高等学校等がTEASを取得します。
2 地球温暖化防止
2.1 二酸化炭素等温室効果ガスの削減
わが国をリードする環境先進県を目指し、二酸化炭素の年間排出量を1990年度から8%以上削減します。
2.2 自然エネルギー等の導入
自然エネルギー等の活用により、その発電量を6万キロワット以上とします。
2.3 森林等による二酸化炭素の吸収
二酸化炭素の吸収源対策として、育成林における間伐面積を16千ha以上とします。
3 循環型社会の確立
3.1 一般廃棄物(ごみ)の排出抑制、リサイクル率の向上
1人1日当たりのごみ排出量を920g以下とするとともに、リサイクル率を25%以上とします。
3.2 産業廃棄物の減量、リサイクル率の向上と適正処理の推進
産業廃棄物の減量・リサイクル率を96%以上とします。
3.3 環境産業の育成
新たにリサイクルビジネスに取組む企業を30社以上育成するとともに、県認定グリーン商品として60以上の商品を新たに認定します。
4 美しい環境を次の世代へ
4.1 三大湖沼(湖山池、東郷池、中海)の保全再生
三大湖沼(湖山池、東郷池、中海)の水質改善を進めます。
4.2 自然環境の保全と野生動植物の保護
自然環境の保全と野生動植物の保護のための人材を育成し、推進体制を整備します。
4.3 環境資源を活用した魅力ある地域づくり
地域固有の環境資源を活用した地域づくりや花と緑のあふれる快適な地域づくりを推進します。
県民との協働による美しい郷土の魅力アップ活動を推進します。
4.4 まちなみ景観の保全・活用
市町村や地域と連携した景観まちづくり活動を拡大し、景観まちづくり活動に取り組む団体(地区)の数を45団体(地区)以上とします。

4.5 環境にやさしい農業の推進

「鳥取県有機・特別栽培農産物推進計画」に基づき、環境に対する化学物質の投入量を少なくした有機農産物・特別栽培農産物の栽培面積を750ha以上とします。

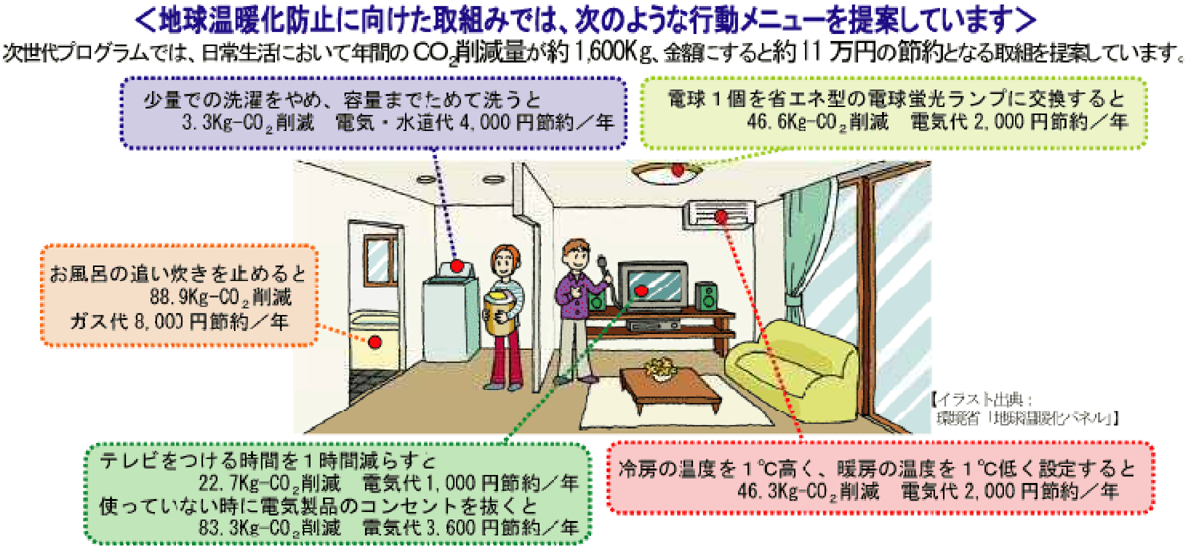
4.6 森林の多面的機能の向上

県民全体で支える森林づくりを推進します。

3 背景、現状、及び課題

・鳥取県版環境管理システム（TEAS：テス）の創設や鳥取県駐車時等エンジン停止の推進に関する条例の制定といった県独自の施策を展開し、県民や企業の方々と共に環境への取組を進めてきましたが、県内の二酸化炭素排出量（2006年度実績）は、1990年度比で約10%も増加するなど、一層の取り組み促進が必要な状況。
・このため、平成20年5月に「環境先進県に向けた次世代プログラム」を策定。
・平成22年度までの3ヵ年を目標年度として各種施策を実施中。

4 地球温暖化防止に向けた取組みでは次のような行動メニューを提案しています



【イラスト出典：環境省「地球温暖化パネル」】

実績

平成22年度実績

成果指標	現状 H18年度 (2006)	現状 H19年度 (2007)		H20年度 (2008)	H21年度 (2009)	H22年度見込 (2010)
1.2 環境教育・学習の推進						
・環境教育参加者数［環境学習施設の年間利用者］	152,243	230,245	目標	200,000	200,000	200,000
			実績	204,021	376,656	368,410
・こどもエコクラブ事務局設置市町村数［19市町村］	7	9	目標	13	16	19
			実績	15	15	12
・こどもエコクラブの登録人数［人］	2,479	3,060	目標	3,500	4,000	4,500
			実績	5,401	6,345	7,308
・環境教育・学習アドバイザーの登録人数［人］	29	36	目標	40	45	50
			実績	42	43	48
1.3 環境に配慮した活動を持続的に行うための仕組みの普及						
・TEASの登録数［件］	293	477	目標	500	600	700
			実績	611	675	719
2.1 二酸化炭素等温室効果ガスの削減						
・鳥取県エネルギー販売量による二酸化炭素排出量［千トン－Co2］	4,358	4,360	目標	4,327	4,297	4,266
			実績	4,152	4,132	4,265
・鳥取県エネルギー販売量による二酸化炭素排出量（一世帯あたり）［Kg－Co2］	5,623	5,853	目標	5,524	5,424	5,325
			実績	5,595	5,645	6,128
・鳥取県エネルギー販売量による二酸化炭素削減率（事業所）［%］	0	0.1%	目標	1%	1%	1%
			実績	5.1%	5.5%	−0.8%
・アイドリングストップ宣言者数［人］	14,615	22,560	目標	25,000	30,000	35,000
			実績	24,761	27,823	31,092
・アイドリングストップ推進事業所及び公共交通機関利用推進事業所の登録数［件］	630	793	目標	800	850	900
			実績	813	1,178	1,349
・市町村による温室効果ガスの排出抑制に向けた推進計画策定数［市町村］	0	0	目標	10	15	19
			実績	0	0	0
・市町村による温室効果ガスの排出抑制に向けた推進組織の設立数［市町村］	0	0	目標	10	15	19
			実績	0	0	0
2.2 自然エネルギー等の導入						
・自然エネルギー等の発電量［Kw］　（H19～H22　6万KW）	43,433	77,610	目標	79,000	109,000	110,000
			実績	84,882	87,948	162,738
2.3 森林等による二酸化炭素の吸収源対策						
・育成林の間伐実施面積［ヘクタール］	4,180	4,345	目標	8,360	12,540	16,720
			実績	8,872	13,073	17,039
3.1 一般廃棄物（ごみ）の排出抑制、リサイクル率の向上						
・1人1日当たりのごみ排出量［g／1人1日］	H17値 998	H18値 1025	目標	960	940	920
			実績	H19値 938	H20値 898	H21値 913
・ごみのリサイクル率［%］	H17値 17.5	H18値 18.4	目標	21.0	23.0	25.0
			実績	H19値 19.7	H20値 19.3	H21値 23.3
3.2 産業廃棄物の減量、リサイクル率の向上と適正処理の推進						
・産業廃棄物のリサイクル率［%］	H17値 95.3	H18値 95.9	目標	96.0	96.0	96.0
			実績	H19値 96.2	―	H21値 95.3
3.3 環境産業の育成						
・リサイクルビジネスに取組む企業数［社］	23	11	目標	10	10	10
			実績	13	29	26
・県認定グリーン商品の新規認定数［件］	1	20	目標	20	20	20
			実績	23	202	45

成果指標		現状 H18年度 (2006)	現状 H19年度 (2007)		H20年度 (2008)	H21年度 (2009)	H22年度見込 (2010)
4.1 三大湖沼（湖山池、東郷池、中海）の保全再生							
湖山池	・汚濁負荷量の削減(COD) [kg/日]	H17値 636.2	H18値 568.6	目標	→	→	501.7
				実績	H19値 572.8	H20値 548.0	H21値 526.7
湖山池	・汚濁負荷量の削減(全窒素) [kg/日]	H17値 247.8	H18値 225.2	目標	→	→	198.2
				実績	H19値 227.7	H20値 217.8	H21値 210.7
湖山池	・汚濁負荷量の削減(全燐) [kg/日]	H17値 20.19	H18値 18.00	目標	→	→	15.17
				実績	H19値 17.65	H20値 15.5	H21値 15.20
湖山池	・下水道整備率 [%]	56.9%	57.7%	目標	→	→	78%
				実績	61.0%	63.8%	67.3%
東郷池	・汚濁負荷量の削減(COD) [kg/日]	H15値 526.5	H18値 523.1	目標	→	→	H27 520.4
				実績	H19値 520.7	H20値 518.4	H21値 514.8
東郷池	・汚濁負荷量の削減(全窒素) [kg/日]	H15値 160.9	H18値 152.6	目標	→	→	H27 151.7
				実績	H19値 154.5	H20値 151.7	H21値 151.6
東郷池	・汚濁負荷量の削減(全燐) [kg/日]	H15値 7.56	H18値 6.83	目標	→	→	H27 7.09
				実績	H19値 6.92	H20値 6.92	H21値 6.86
東郷池	・下水道接続率 [%]	98.4%	95.6%	目標	→	→	H27 (99%)
				実績	95.5%	96.3%	96.5%
東郷池	・農業集落排水施設接続率 [%]	93.8%	93.7%	目標	→	→	H27 (99%)
				実績	94.5%	94.8%	94.7%
中海	・汚濁負荷量の削減(COD) [kg/日]	H17値 1,676.5	H18値 1,610.3	目標	1,955.7	→	H25 1,429.4
				実績	H19値 1564.6	H20値 1534.7	H21値 1,458.6
中海	・汚濁負荷量の削減(全窒素) [kg/日]	H17値 776.9	H18値 773.9	目標	902.1	→	H25 625.4
				実績	H19値 687.0	H20値 665.5	H21値 664.80
中海	・汚濁負荷量の削減(全燐) [kg/日]	H17値 62.99	H18値 62.81	目標	74.47	→	H25 53.4
				実績	H19値 57.03	H20値 58.1	H21値 66.3
中海	・下水道整備率 [%]	59.9%	61.7%	目標	60%	→	H25 70%
				実績	63.7%	67.1%	69.6%
4.2 自然環境の保全と野生動植物の保護							
	・ボランティア登録者数 [人]	0	86	目標	126	150	160
				実績	90	97	104
	・希少野生動植物保護管理事業実施団体の認定 [団体]	11	11	目標	14	18	20
				実績	12	13	13
4.3 環境資源を活用した魅力ある地域づくり							
	・花と緑のまちづくりモデル地区の認定数 [地区]	0	5	目標	8	16	24
				実績	5	10	10
	・エコツーリズム推進協議会設立 [協議会]	0	0	目標	2	4	6
				実績	1	2	0
	・とっとり共生の森参画企業数 [社]	3	9	目標	3	3	3
				実績	3	2	0 (区域拡大1)
4.4 まちなみ景観の保全・活用							
	・景観形成活動に取り組む団体(地区)数 [団体]	3	3	目標	3	3	4
				実績	3	3	3
	・「地域生活百景」に選定数 [認定]	0	0	目標	30	60	100
				実績	31	100	100
	・景観まちづくり活動団体の登録数 [団体]	19	19	目標	25	35	45
				実績	26	37	48
4.5 環境にやさしい農業の推進							
	・有機農産物・特別栽培農産物の認定面積 [ヘクタール]	695	731	目標	725	740	750
				実績	843	1,001	1,050
4.6 森林の多面的機能の向上							
	・低コスト林業普及となる施業団地数 [団地]	0	33	目標	10	10	10
				実績	29	49	27
	・作業道等の整備延長 [Km]	26	30	目標	25	25	25
				実績	29	74	189

連絡先

生活環境部 環境立県推進課 環境立県戦略担当 電話0857-26-7205

参考URL

鳥取県環境立県推進課のwebサイトより
「環境先進県に向けた次世代プログラム」
http://www.pref.tottori.lg.jp/dd.aspx?menuid=77890

▲ページ上部に戻る

1. すべての主体の連携・協働による環境立県

1.3環境立県県民運動の推進

02 とっとり環境ネットワーク支援事業

施策

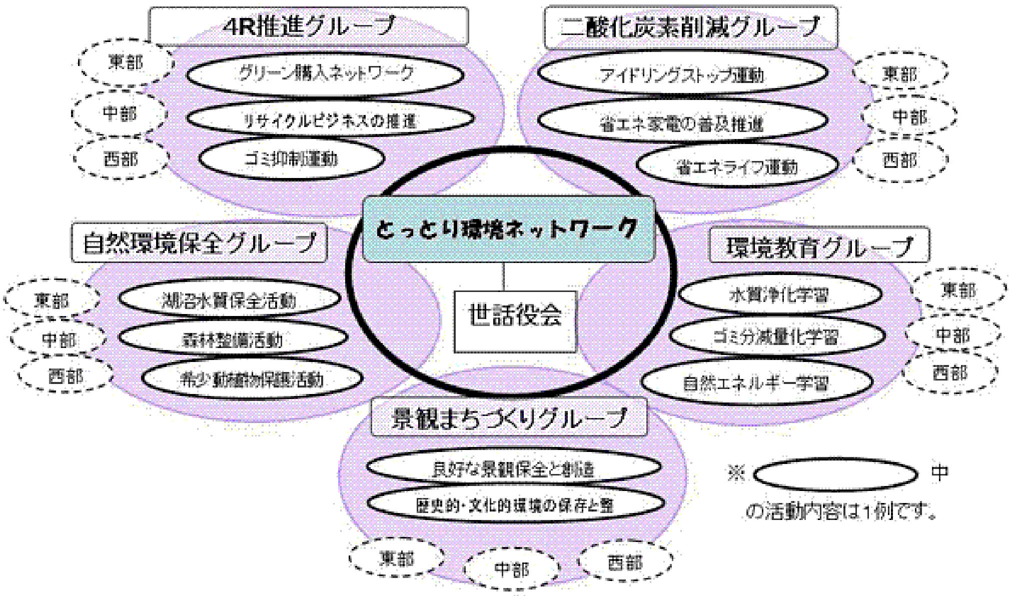
1 事業の目的
「とっとり環境ネットワーク」が実施する環境活動等を支援し、県民と協働して環境先進県を推進する。

2 背景、現状、及び課題
地球温暖化防止活動など環境にやさしい行動を行う様々な団体や企業、個人が集まり、各種の情報交換や環境活動への参加呼びかけなど行う"とっとり環境ネットワーク"が平成17年6月に設立された。
環境月間である6月を中心に、独自に設定する「とっとり環境デー」事業を実施して、環境立県に向けた活動の輪を一層広げていく取組を行っている。

3 事業の内容
○とっとり環境教育・学習アドバイザー制度の運営を委託(H22年度～)
○とっとり環境ネットワークが「環境先進県」を目指して実施する次の普及啓発事業などに対して、補助金を交付するもの。

(1)ネットワーク運営事業(補助率10/10) 全体会(1～2回/年)、世話役会(6回/年程度)の会議会場の借上、ネットワークの役員(コーディネーター)の世話役会出席旅費、ネットワーク事務局の維持管理経費及び事務局職員の人件費等
(2)とっとり環境デー等広報事業(補助率10/10) 「とっとり環境デー」を中心に環境活動の実施を呼びかけ、県内随所で実施される環境イベントなどの情報を広く県民に周知を図るポスター、チラシの作成、配布
(3)とっとり環境デー等普及啓発事業(補助率4/5) とっとり環境デーなど環境先進県を推進する各種事業を支援
・とっとり地球生物サミットinよなご(生物多様性についての講演会等)の実施
・環境学習出前教室の実施
・アイドリングストップの普及啓発
・大人出前教室(エコ・カフェの実施)
・とっとり景観まちづくり体験ツアーの実施

とっとり環境ネットワークのイメージ図



実績

平成22年度実績
〈支援した内容〉

1 「とっとり地球生物サミットinよなご」の開催
・日時:6月6日(日)午前10時から午後4時まで
・場所:米子コンベンションセンター(小ホール、情報プラザ)
・概要:環境学習体験コーナー、生物多様性に関する講演会及びパネルディスカッションなど

2 先進地視察
(1)生物多様性条約第10回締結国会議(COP10)
・日時:10月11日～29日の開催期間中の約2日間
・視察先:名古屋国際会議場ほか

3 環境学習出前教室の実施
学校や地域の団体からの要望に応じ、会員が環境学習の講師等として環境活動を推進(実績:76件)

4 地球温暖化防止普及啓発の活動
下記イベントで地球温暖化防止活動の実践を呼びかけた。
(1)鳥取せいきょうまつり
・日時:10月17日(日)午前10時から午後3時まで
・場所:コカコーラウエストスポーツパーク
・概要:「はじめようエコライフ」等のチラシ配布など
(2)とっとりエコフェスタ2010
・日時:10月24日(日)午前10時から午後4時まで
・場所:どらドラパーク米子補助グランド
・概要:パネル展示、太陽光発電に関するビデオ放映など

5 エコカフェの実施
(1)日時:8月23日(月)午後1時から午後3時まで
場所:湯梨浜町中央公民館羽合分館
参加者:約40名
内容:風鈴演奏と環境のお話
(2)日時:11月14日(日)午後1時30分から午後3時30分まで
場所:鳥取ガスグループ ショールーム サルーテ
参加者:約25名
内容:ドイツのエコライフ

連絡先

生活環境部環境立県推進課 環境立県戦略担当 電話0857-26-7205

参考URL

鳥取県環境立県推進課のwebサイトより
「とっとり環境ネットワーク」
http://www.pref.tottori.lg.jp/dd.aspx?menuid=38319

▲ページ上部に戻る
個人情報保護 | リンク | 著作権 | アクセシビリティ

鳥取県生活環境部環境立県推進課
住所　〒680-8570 鳥取県鳥取市東町一丁目220番地
電話　0857-26-7205　　ファクシミリ　0857-26-8194
E-mail　kankyourikken@pref.tottori.jp

現在の位置：環境立県推進課 → 鳥取県環境白書 → 平成22年度 →03 鳥取県環境立県協働促進事業

もどる

1．すべての主体の連携・協働による環境立県

1.3環境立県県民運動の推進

03 鳥取県環境立県協働促進事業

施策

1　目的
　県民との協働による環境先進県の実現を目指し、地域住民団体等が実施する環境活動等に対して経費の一部を助成する。

2　内容

区　分	事業の概要
自然環境創造支援事業（ハード事業）	○地域住民団体等が行う自然環境の保全・再生に要する資材費等の経費について助成。 対　象：市町村（間接補助） 補助率：1／2 限度額：500千円
環境立県普及・促進事業（ソフト事業）	○地域住民団体等が一般県民を対象に実施する環境に関するイベント、講演会等の経費について助成。 対　象：市町村（間接補助）、地域住民団体等 補助率：1／2 限度額：300千円 （事業効果が地域に限定的な事業にあっては、市町村の間接補助のみ）
環境教育・学習アドバイザー派遣事業	○地域住民団体等が環境保全意識の向上を図るための学習会などに、県の登録アドバイザーを活用する場合、その謝金、旅費について助成 対　象：地域住民団体等 補助率：10／10

3　現状及び背景
環境団体や地域住民が実施する環境問題の普及啓発活動に対して助成することで、地域における環境保全活動の広がりを推進してきたところ。（平成20年度補助実績：39団体）

実績

平成22年度実績
12団体の環境活動に対して、補助金1，064千円を交付した。

No	活動内容

１	地域で意欲的に活躍する自然観察・環境教育のボランティアリーダーを育成することを目的に「第４４５回自然観察指導員講習会・鳥取」を開催
２	ゴミ減量化、正しい分別の仕方、リサイクル意識の向上等について普及啓発を実施し、子供を含め一般の環境問題への関心を深めることを目的に「エコフェスタ」を開催
３	第５７回鳥取県婦人大会内において、シンポジウム「環境にやさしいライフスタイル実現のために」を開催
４	講演会「みんなで話そう！未来を救う私たちのくらし（エコ端会議）」の開催
５	講座「太陽光発電実験とエコ工作」の開催
６	メダカ池の生息調査、清掃、メダカボランティア、勉強会等
７	バイオマス真庭視察旅行、報告会
８	講座「エコ工作」
９	水草刈り取り、アダプトプログラムの推進
１０	環境ミュージカル　キミがいた日々２０１０
１１	中部地区内の婦人会を中心に視察、研修を通して水質浄化問題、農業、林業に対しての獣害問題のに取組み、実践する
１２	学習アドバイザーを招き、自然観察

連絡先

生活環境部 環境立県推進課 環境立県戦略担当 電話0857-26-7205

参考URL

鳥取県環境立県推進課のwebサイトより
「環境活動への取組みを支援します ～鳥取県環境立県協働促進事業補助金～」
http://www.pref.tottori.lg.jp/dd.aspx?menuid=37720

▲ページ上部に戻る

個人情報保護 | リンク | 著作権 | アクセシビリティ

鳥取県生活環境部環境立県推進課
住所　〒680-8570 鳥取県鳥取市東町一丁目220番地
電話　0857-26-7205　　ファクシミリ　0857-26-8194
E-mail　kankyourikken@pref.tottori.jp

もどる

1．すべての主体の連携・協働による環境立県

1.3環境立県県民運動の推進

04 鳥取県ライトダウン促進事業

施策

1　目的
　平成15年より環境省提唱のもと、地球温暖化防止の気づきに繋げるため、ライトアップ施設や家庭の電気を消していただくよう呼びかける「CO2削減／ライトダウンキャンペーン」を実施。
更に、洞爺湖サミットの開催に先立ち、低炭素社会の実現に向けて環境問題の大切さを国民全体で再確認していくため、毎年7月7日を「クールアース・デー」とすることを地球温暖化対策推進本部（平成20年6月17日開催）において決定。
　これを契機に、鳥取県庁でも20年度から職員に対する意識啓発及び県民への省エネルギー活動推進の普及啓発を目的として、本キャンペーンに参加。
　22年度も率先行動計画の一環として、ライトダウンの取組みを全庁的に行い、併せてイベントを実施する。

2　概要
　○ライトダウンの実施と関連施策
　・全庁ライトダウンの実施（7月7日　午後8時～10時）
　・一斉退庁、19時以降消灯日の設定
　・ライトダウンイベントの実施

　○普及啓発
　・県政だより、ホームページ等によるPR

平成21年度のライトダウンイベントの様子（鳥取県庁）

実績

1　ライトダウン実施日時　平成22年7月7日（水）午後8時から

2　ライトダウン実施範囲　全庁（県庁本庁舎、第二庁舎、総合事務所等地方機関、県警本部　※ただし緊急・保安・防犯上やむを得ない部分は除く）

3 当日(7月7日)実施した関連事業【実施時間：午後6時30分～8時】
（1）本庁舎南側の窓を用いた“窓文字”の点灯
　※一斉退庁、午後7時以降消灯完了後、7時30分頃から県庁本庁舎南側の窓を用いて窓明かりによる文字『七夕』を点灯させ、エコトリピーの8時前のカウントダウンにより完全消灯を行った。
　また、カウントダウンによる窓文字の消灯の様子は、ユーストリーム（ustream）でライブ配信を行った。（URLはhttp://www.ustream.tv/channel/lightdown/）

（2）和紙製ミニランプ、自転車発電によるイルミネーションの点灯（場所：県庁構内駐車場）
　※鳥取市立久松（きゅうしょう）保育園年長組（5歳児）園児が作成した和紙製LEDミニランプとイルミネーションを点灯させ、駐車場内に“天の川”を登場させた。

（3）電気自動車の試乗会（場所：県庁構内駐車場）
　※県が公用車としてカーシェアリングする同車種の電気自動車を県民のみなさんにもっと知っていただくため、試乗会を開催した。

4　その他、キャンペーン期間中（6月20日～7月7日）に実施した関連事業
（1）和紙製ミニランプ、自転車発電キットの展示 【展示期間：6月21日（月）～7月7日（水）】
　※6月15日に鳥取市立久松（きゅうしょう）保育園　年長組（5歳児）園児とエコトリピーが作った和紙製LEDミニランプを1階ロビーに設置した“暗室”内で点灯させ展示を行った。
　※発電装置を装着した自転車2台を展示し、来庁者に実際に乗って発電を体験していただいた。

（2）七夕飾りへの園児による短冊の飾りつけ 【実施日：7月1日（木）】
　県庁本庁舎1階ロビーに展示の“巨大七夕飾り”に鳥取市立久松保育園園児が、和紙製LEDミニランプの見学とあわせて、自身の願い事を書いた短冊の飾り付けを行った。

窓文字（七夕）	和紙製LEDミニランプとイルミネーション

連絡先

生活環境部　環境立県推進課　グリーンニューディール推進室　電話0857-26-7879
ＩSO担当　電話0857-26-7875

参考URL

環境省ライトダウンキャンペーンwebサイトより
http://coolearthday.jp/

1．すべての主体の連携・協働による環境立県

1.3環境立県県民運動の推進

05 とっとりエコフェスタ2010実施事業

施策

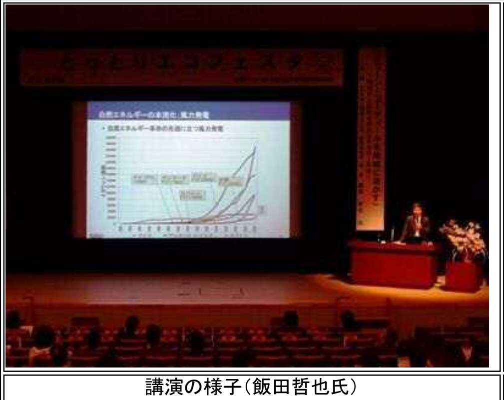
1 目的
　地球温暖化防止の普及啓発を県民運動として推進するため、ガイナーレ鳥取、環境省（中国四国地方環境事務所）と連携し、地球温暖化防止の普及啓発のための総合的なイベントを開催する。
　また、「とっとり発グリーンニューディール」の成果や取組みも、広く県民にPRする。

2 内容
（1）ガイナーレ鳥取との連携
　時期：平成22年7月～10月
　場所：とりぎんバードスタジアム又はどらドラパーク米子東山陸上競技場
　概要：パネル展示（企業、行政、NPO等）
　　　　実物展示（エコカー、省エネ機器、風力発電機など）
　　　　試合前、ハーフタイム時に温暖化防止・4RのPR
　　　　4Rアンケートに協力いただいた方にはエコ箸などを配布

（2）環境省（中国四国地方環境事務所）イベントとの連携
　時期：上記ホームゲームのうち1日（秋頃）
　場所：米子市東山体育館等
　概要：パネル展示（企業、行政、NPO等）
　　　　体験コーナー
　　　　環境省3R推進中四国地方大会と併催

3 背景、現状、及び課題
・温暖化防止の取組みを県民運動として広げるためには、特に二酸化炭素排出量が増加している家庭部門への働きかけが重要。
・「とっとり発グリーンニューディール」で描いた未来図を現実のものとするためには、様々な取組みに対する県民の理解が不可欠
・こうした取組みをスポーツイベント等と協働で行うことで、集客とPRの相乗効果を図り、県民運動の取組み強化を図る。

（参考　平成21年度のエコフェスタの様子）

	
講演の様子（飯田哲也氏）	新聞紙マイバック作り

段ボールコンポストづくり教室	ロビー展示の様子

実績

平成22年度実績
「とっとりエコフェスタ2010」を開催し、県民のみなさまに地球温暖化防止をはじめとする環境問題について理解を深めていただくとともに、県内の様々な環境に配慮した取組の展示等を通して、温暖化防止を県民運動として推進した。

1 日時　平成22年10月24日（日）午前10時～午後4時
2 会場　どらドラパーク米子補助グランド（米子市東山町102）
3 主催　鳥取県（環境立県推進課）、環境省中国四国地方環境事務所
　後援　とっとり環境ネットワーク、鳥取県地球温暖化防止活動推進センター
　協賛　ガイナーレ鳥取
4　内容
（1）ステージでのイベント（八頭町エコレンジャーショー、タレント野々村真トークショー等）
（2）各種展示・体験コーナー（電気自動車、プラグインハイブリッド自動車、太陽光発電、うちエコ診断等）
（3）会場内スタンプラリー（スタンプを集めた方にカーボン・オフセットパンをプレゼント）
（4）イベント自体のエコイベント化（ごみの分別徹底）

「愛と勇気のエコレンジャー」ショー	出展ブース	ペットボトルリサイクル車

連絡先

生活環境部 環境立県推進課 グリーンニューディール推進室 電話0857-26-7879

参考URL

鳥取県環境立県推進課のwebサイトより
「環境立県推進課」
http://www.pref.tottori.lg.jp/dd.aspx?menuid=3268

▲ページ上部に戻る
個人情報保護 | リンク | 著作権 | アクセシビリティ

鳥取県生活環境部環境立県推進課
住所　〒680-8570 鳥取県鳥取市東町一丁目220番地
電話　0857-26-7205　　ファクシミリ　0857-26-8194
E-mail　kankyourikken@pref.tottori.jp

現在の位置：環境立県推進課 → 鳥取県環境白書 → 平成22年度 →06 鳥取県環境立県推進功労者知事表彰

もどる

1. すべての主体の連携・協働による環境立県

1.3環境立県県民運動の推進

06 鳥取県環境立県推進功労者知事表彰

施策

1 目的
　県内において環境保全のための実践活動、技術の開発・普及、教育啓発活動等を行い、環境立県の推進に顕著な功績のあった個人又は団体を顕彰することにより、県内における環境活動を一層推進する。

2　事業の内容
表彰は、次の功績を有する個人等について行う。
（1）環境保全のための実践活動に関する功績
　広域的、先導的若しくは長期的な環境保全活動、環境美化活動若しくは緑化推進活動を行い、又は環境行政に協力若しくは従事したこと。
（2）環境保全のための技術等の開発・普及に関する功績
　省エネルギー技術、温室効果ガスの排出低減技術その他の環境保全のための技術若しくはそれらの技術を用いた製品の開発若しくは研究、又はそれらの先導的若しくは大量の導入若しくは普及啓発を行ったこと。
（3）環境保全のための情報発信・教育啓発に関する功績
　多年にわたり環境保全のための情報の発信、又は学校、地域、企業等における教育啓発活動を行ったこと。

3　背景、現状、及び課題
　環境美化、廃棄物の適正処理に対する表彰の他には、環境関連の顕彰制度はなかったため、平成18年度に自然環境保全活動、地球温暖化防止活動、環境教育活動、省エネ技術の開発、導入等といった環境全般にわたる顕彰制度を創設した。

実績

1　表彰を受けられた方及び団体の活動概要

（1）福田　忠明（ふくだ　ただあき）氏
【概要】
○平成5年から県外の市民団体のメンバーとして、自然エネルギー利活用の普及・啓発活動を始め、帰郷後の平成16年には県の環境教育・学習アドバイザー、平成19年から環境省の環境カウンセラーに登録され、県内の子供たちを中心に環境教育活動を行い、学習機会の提供、環境意識の向上に大きく貢献。
○環境に関した様々な取り組みを実施している団体や企業、個人等の集まりである「とっとり環境ネットワーク」のまとめ役の一人として、学校や企業・団体などで積極的に講演を行い、環境学習ハンドブック作成に当たって主導的な役割をし、県民の環境意識の向上に大きく寄与。
○県庁ISO14001の内部オブザーバー、「北栄町環境まもり隊」隊長として、行政の環境施策に対し積極的に協力。

○平成12年にいち早く自宅に導入した太陽光発電装置の詳細なデータを基に専門誌に寄稿するなど、県民の模範となる環境配慮活動を実践し、普及啓発に努めてきた。

（2）松本　輝之（まつもと　てるゆき）
【概要】
○昭和31年から現在まで54年間、有害鳥獣捕獲作業に従事し、鳥獣被害の拡大防止に大きく寄与。
○平成6年から現在まで17年間本県の狩猟免許試験委員、平成5年から19年まで14年間東部地区狩猟免許更新講習会講師を務め、狩猟免許所持者の確保に多大な貢献。
○平成14年から鳥取県猟友会会長として、事故防止・違法狩猟の防止等を実践的に指導し、生態系保全活動に尽力するとともに、同年県環境審議会委員に就任し、鳥獣保護区の指定、特定鳥獣保護管理計画の策定に尽力するなど、行政施策の推進に貢献。
○近年は、ヌートリアやアライグマなどの外来生物の防除に積極的に協力するとともに、鳥獣に関する各種調査のほか傷病鳥獣の保護活動を積極的に行うなど、生物多様性保全活動にも尽力。

連絡先

生活環境部環境立県推進課 環境立県戦略担当 電話0857-26-7205

参考URL

鳥取県環境立県推進課のwebサイトより
「鳥取県環境立県推進功労者知事表彰制度」
http://www.pref.tottori.lg.jp/dd.aspx?menuid=65295

▲ページ上部に戻る

個人情報保護 | リンク | 著作権 | アクセシビリティ

鳥取県生活環境部環境立県推進課
住所　〒680-8570 鳥取県鳥取市東町一丁目220番地
電話　0857-26-7205　　ファクシミリ　0857-26-8194
E-mail　kankyourikken@pref.tottori.jp

もどる

1．すべての主体の連携・協働による環境立県

1.3環境立県県民運動の推進

07 ノーレジ袋推進事業

施策

1　目的
　地球温暖化防止と循環型社会の構築に向け、環境にやさしいライフスタイルへの第一歩となる「レジ袋削減」を図るため、県下統一した「ノーレジ袋デー」の継続強化等を図る。

2　内容
（1）「レジ袋無料配布中止（有料化）」取組活動発表会の開催
（2）ノーレジ袋デー（毎月10日）・マイバッグキャンペーンの実施

3　現状・課題
（1）東部・中部・西部の県内3地域「ノーレジ袋推進協議会」で、レジ袋削減に向けた具体的取組（レジでの声かけ、店内放送、広報等の強化等）を推進 ・レジ袋辞退率の目標を設定し、取組を強化
（2）県民全体にレジ袋削減への動機づけ、きっかけを行うため、毎月10日「ノーレジ袋デー」を継続実施中。
（3）事業者は「レジ袋無料配布中止に向けて、足並みが揃わない中での実施を懸念。」との意向。
　　→再度、各地域協議会で実施方法について検討

実績

レジ袋削減を図るため、毎月10日「ノーレジ袋デー」を中心とした店頭キャンペーン、イベント、広報等を通じて普及啓発を行った。

○毎月10日「ノーレジ袋デー」店頭キャンペーン
（内容）東部・中部・西部各地域ノーレジ袋推進協議会の事業者店舗で、消費者団体・行政等によるレジ袋削減の呼びかけ

○イベントでの普及啓発
・とっとり地球サミットinよなご（6/6　米子コンベンションセンターにて、パネル・レジ袋一年間消費モデルケース等展示）
・食のみやこ鳥取県フェスタ（9/11～12　倉吉パークスクエアにて、パネル、５人家族が一年間にもらうレジ袋（約1，150枚）のモデルケースの展示等）
・湯梨浜町女性フォーラム2010（9/19　ハワイアロハホールにて、レジ袋削減説明、新聞紙マイバッグづくり）
・花と緑のフェア（10/16～17　湖山池公園休養ゾーンにて、鳥取市主催「小学生オリジナルマイバッグコンテスト」の受賞作品、パネル・レジ袋一年間消費モデルケース等展示）
・とっとりエコフェスタ（10/24　米子市東山公園内補助グラウンドにて、鳥取市主催「小学生オリジナルマイバッグ

コンテスト」の受賞作品・パネルの展示、風呂敷包み講習会、環境劇）
・いわみフレッシュフェスティバル（11/3　岩美中央公民館にて、パネル・レジ袋一年間消費モデルケースの展示、風呂敷包み講習会等）
・中部地域ノーレジ袋デー2周年記念イベント（11/7　倉吉パープルタウンにて、園児によるオリジナルマイバッグソング発表、５人家族が一年間にもらうレジ袋（約1，150枚）のモデルケースの展示、古新聞を活用したマイバッグ・パネル展示、風呂敷包み実演講習会、レジ袋削減に係るアンケート調査等）

○広報等を通じた普及啓発
　　とっとり県政だより10月号での特集掲載（県内全戸等へ配布）
　　　　　内容　県HP　http://www.pref.tottori.lg.jp/dd.aspx?menuid=149084

連絡先

生活環境部　環境立県推進課　グリーンニューディール推進室　電話0857-26-7879

参考URL

鳥取県環境立県推進課のwebサイトより
「ノーレジ袋推進の取組」
http://www.pref.tottori.lg.jp/dd.aspx?menuid=82375

▲ページ上部に戻る
個人情報保護 | リンク | 著作権 | アクセシビリティ

鳥取県生活環境部環境立県推進課
住所　〒680-8570 鳥取県鳥取市東町一丁目220番地
電話　0857-26-7205　　ファクシミリ　0857-26-8194
E-mail　kankyourikken@pref.tottori.jp

1. すべての主体の連携・協働による環境立県

1.3環境立県県民運動の推進

08 カーボンオフセットの推進

施策

1 目的
「カーボンオフセット」を県民に身近なものとしてとらえていただき、また県内の取組みを推進するため、PRするとともに、温室効果ガス排出削減クレジット発行等に係る申請手数料の支援を行う。

〇カーボンオフセットとは、自らの削減困難なCO2等排出量について、他者により実現した排出削減・吸収量を用いて、埋め合わせること。

2 現状
〇自分のCO2排出量のうち、どうしても削減できない量の削減・吸収量でオフセット（埋め合わせ）すると見なす「カーボンオフセット」の取組が徐々に増加。
〇国内クレジット等取得の動きが徐々に見え出したものの、依然、認証取得件数が少ない。国内クレジット等の買い手の有無、売買価格の不透明感が原因と考えられ、取組事例の蓄積が必要な状況。
〇地球温暖化対策条例においても、温室効果ガス排出抑制の計画や報告に当たって、クレジット等の活用を寄与的取組との位置づけ。

3 事業の概要
（1）普及啓発
・新聞広告等によるPR
・カーボンオフセット・シンポジウムの開催
（2）カーボンオフセットの促進
・カーボンオフセット商品のPR
・カーボンオフセットイベントのPR

実績

22年度実績
〇新聞広告（2回）
〇シンポジウム（1回約70名）
〇国内クレジット認証取得支援期間と認証取得希望事業者とのマッチングを行った。
〇国内クレジット制度については、新たに4件が事業申請または承認となった（累計7件）。

連絡先

生活環境部　環境立県推進課　グリーンニューディール推進室　電話0857-26-7879

参考URL

鳥取県環境立県推進課のwebサイトより
「環境立県推進課」
http://www.pref.tottori.lg.jp/dd.aspx?menuid=118123

▲ページ上部に戻る
個人情報保護 | リンク | 著作権 | アクセシビリティ

鳥取県生活環境部環境立県推進課
住所　〒680-8570 鳥取県鳥取市東町一丁目220番地
電話　0857-26-7205　　ファクシミリ　0857-26-8194
E-mail　kankyourikken@pref.tottori.jp

1．すべての主体の連携・協働による環境立県

1.3環境立県県民運動の推進

09 大山トイレマナーアップキャンペーン事業

施策

1　目的・概要
　国立公園大山でのトイレ利用のマナーアップを図るため、キャンペーンを実施するとともに、大山頂上トイレの汚泥をボランティアにより担ぎ下ろすイベントを実施する。

2　内容
（1）大山トイレマナーアップキャンペーンの推進
　大山の美しい自然環境を子供たちに伝え残していくため、「大山トイレマナーアップキャンペーン（平成20年9月1日からスタート）」を推進し、大山頂上トイレのあり方や登山時における用便について、登山者一人ひとりに考えてもらい、マナーやモラルの向上を図る。

（2）大山頂上トイレ汚泥キャリーダウン・ボランティアの実施
　県が管理する大山頂上トイレ浄化槽内の沈殿汚泥の運搬にあたり、出来るだけ自然環境に負荷を与えず、参加者が自ら歩き、自然に親しみながら大山の自然環境を考えることができるよう、人力による汚泥の担ぎ下ろし作業をボランティアイベントとして継続実施する。

（3）大山トイレマナーアップ検討会の実施
　大山トイレマナー五ヶ条の普及啓発や携帯トイレの使用推進等の検討を行い、大山頂上トイレのあり方等に関する提言を行うため、学識経験者、地元、行政等で構成する「大山トイレマナーアップ検討会」を開催する。

3　これまでの取組状況
（1）マナーアップキャンペーン
　平成20年9月1日よりスタート

（2）キャリーダウン・ボランティア
　第1回：平成20年9月28日　参加者451名　作業量1．2トン
　第2回：平成21年9月27日　参加者433名　作業量1．0トン

汚泥の入ったボトル（2リットル容器）

頂上での記念撮影

頂上でのボトル受け渡し

登山道に連なるボランティアの方々

（3）マナーアップ検討会
　第1回：平成21年8月21日
　第2回：平成22年3月18日

実績

・大山夏山開き祭（山頂祭）でのPR活動を実施した。
　平成22年6月6日　啓発用記念カードの配布　480枚

・キャリーダウン・ボランティアを実施した。
　第3回：平成22年9月26日　参加者301名　作業量0．6トン

・マナーアップ検討会を実施した。

　第3回：平成22年6月24日

・ユートピア避難小屋へ携帯トイレ使用ブースを整備した。

連絡先

西部総合事務所　生活環境局 生活安全課　動物・自然公園係 電話0859-31-9320

参考URL

鳥取県西部総合事務所生活環境局のwebサイトより
「大山トイレマナーアップキャンペーンについて」
http://www.pref.tottori.lg.jp/dd.aspx?menuid=119788

▲ページ上部に戻る

個人情報保護 | リンク | 著作権 | アクセシビリティ

鳥取県生活環境部環境立県推進課
住所　〒680-8570 鳥取県鳥取市東町一丁目220番地
電話　0857-26-7205　　ファクシミリ　0857-26-8194
E-mail　kankyourikken@pref.tottori.jp

1. すべての主体の連携・協働による環境立県

1.3環境立県県民運動の推進

10 衛生環境研究所発信事業

施策

1　目的・効果
衛生環境研究所の調査研究の充実を図り、成果を社会に還元していくとともに、情報を積極的に提供する。
（1）調査研究の充実
研究成果を行政施策や対策技術等へ反映し、社会に還元する。
（2）環境情報・感染症情報の発信
・環境情報に関する県民のニーズに応え、環境問題に対する関心を高める。
・感染症の流行・予防等について県民の関心・注意を促す。

2　事業内容
（1）調査研究の充実
○外部評価の実施
当研究所の行う調査研究について、外部の学識経験者による評価を行い、結果を課題の選定、見直し等に反映する。
○分野別研究会の活性化
大学等研究者との分野別研究会において、最先端の研究者等との情報交流を深め、研究活動の活性化を図る。
○研究成果の積極的な公開
広く一般県民を対象として、当研究所の研究成果や環境モニタリング結果等について公開し、意見や要望を聴取する。

（2）環境情報・感染症情報の発信
ホームページによる環境情報、感染症情報の提供に加え、地元ケーブルテレビにより研究内容を情報発信する。

実績

平成22年度実績
（1）調査研究の充実

○外部評価の実施

県政の重要課題や県民ニーズを踏まえた研究活動の活性化を促進し、優れた研究成果を上げるため、衛生環境研究所が取り組む調査研究課題について、広く各方面の有識者等の意見を聞き、参考とした。

会議の名称等	開催日時	参加者等	内容

外部評価	(ヒアリング) 専門家 H22.8.23 県民代表 H22.8.26	評価者 専門家　4名 県民代表　2名	調査研究課題に対する評価（事前、中間、事後）を受け、結果をホームページ上で公開するとともに、H23年度当所予算要求に反映した。 〇 事後評価　H21年度で研究期間が終了した6課題 〇 中間評価　3年以上の研究期間を有する1課題 〇 事前評価　H23年度に新規に実施しようとする10課題

〇分野別研究会の活性化

下記の分野ごとの研究者が会し交流及び情報交換を進め、幅広いネットワークの構築を図ることにより互いの研究活動を活性化させ、行政施策への提言等に資することを目的とし、下記のとおり分野別研究会を開催した。

名称	担当室	会員数 （研究所外）	開催日時	内容
自然生態系の再生による水質浄化研究会	水環境対策チーム	19	H22.12.21	〇基調講演 ・「生態系と湖沼環境について」 国立環境研究所　環境リスク研究センター 生態系影響評価研究室　室長　高村典子 〇会員の研究等に係る情報提供 ・環境地質学的視点から見た湖山池：時間と環境を記録する堆積物の効用 島根大学　汽水域研究センター長　教授　野村律夫 ・湖山池のオシラトリア目新型アオコとその抑制に関する研究 鳥取大学　工学部　准教授　嶋尾正行 ・湖山池の漁業と自然環境 県水産試験場沿岸漁業部　生産技術室　室長　福井利憲 ・生態系に視点を置いた湖山池の汚濁機構の究明に関する研究 県衛生環境研究所　水環境対策チーム　研究主任　森明寛 ・時計回りに拡大した中海の貧酸素水域－背景と帰結－ 県衛生環境研究所　水環境対策チーム　特別研究員　宮本康
廃棄物・資源循環研究会	リサイクルチーム	27	H22.12.25	〇基調講演 ・最近の特許を巡る動きと、資源循環技術に関する動向について 特許庁　総務部企画調査課長　後谷陽一 ・国内リサイクル法と国際資源循環の関係について 国立環境研究所 循環型社会・廃棄物研究センター　研究員　吉田綾 〇研究会員による研究紹介 ・「微量元素のスペシエーション分析」 鳥取大学　地域学部　地域環境学科　教授　中野惠文 ・「廃カニ殻から単離される超微細繊維　キチンナノファイバー」 鳥取大学大学院　工学研究科　講師　伊福伸介 〇ビジネスプラン発表会／ニーズ勉強会 ・有限会社錦海化成　代表取締役　岩本秀熙 ・田中窯業有限会社　取締役専務　舞立政男 ・因幡環境整備株式会社　代表取締役　国岡稔

（2）環境情報・感染症情報の発信
〇ケーブルテレビでの研究成果の発信

・中海テレビ「環境ライフ」の放映　１２回（１テーマ／月）

○感染症情報センターの運営
・感染症週報及び月報をホームページに掲載するとともに、医療機関及び社会福祉施設等の希望者に郵送、電子メール等により、啓発及び注意喚起を行った（県内約９０機関へ情報提供）。

○衛生環境研究所ホームページの管理・運営
・調査研究に関する情報
・食の安全に係る行政検査情報
・東郷池・中海の水質状況、黄砂・花粉・有害紫外線等の環境情報
・感染症情報
・環境教育・学習の情報

連絡先

生活環境部 衛生環境研究所 企画調整室 電話0858-35-5411

参考URL

鳥取県衛生環境研究所のwebサイトより
「鳥取県衛生環境研究所」
http://www.pref.tottori.lg.jp/dd.aspx?menuid=3565

鳥取県生活環境部環境立県推進課
住所　〒680-8570 鳥取県鳥取市東町一丁目220番地
電話　0857-26-7205　 ファクシミリ　0857-26-8194
E-mail　kankyourikken@pref.tottori.jp

1. すべての主体の連携・協働による環境立県

1.3環境立県県民運動の推進

11 とっとり森林月間

施策

1　事業の背景と目的
　県民共通の財産である森林をみんなで守り育てる意識の醸成を図ることを目的に平成17年度に「森林環境保全税」を導入したことを契機に、木材を積極的に利用することは循環型社会の構築や地球温暖化防止にも寄与することから、「木の日」である10月8日を中心とした10月を「とっとり森林月間」に制定し、「県民参加の森林づくり」をテーマに林業事業体、県民、ボランティア団体等が、それぞれの立場での森林づくりを企画・実施し、森林づくりの活動の輪を広めることを目的としている。

2　事業の内容
　林業事業体、県民、ボランティア団体、市町村等がそれぞれ実施する森林づくり活動や体験・参加イベント等を情報提供するとともに、多数の県民の参加について普及啓発を図る。

（活動例）
森林環境・森林体験企画フォーラム
竹林フォーラム
とっとりきのこ祭り
森林づくり講演会
炭焼き・森林施業体験　　等

竹林フォーラムの開催状況（平成２１年度）

実績

・竹林フォーラムの開催（開催日　平成２２年１０月１０日）
・森林環境・森林体験企画フォーラム開催（開催日　平成２２年１１月２８日）
・新聞広告により「森林月間」「森林体験企画イベント」をPR（掲載日　平成２２年１０月１３日）
・とっとり県民参加の森づくり推進事業の支援により、３２企画のイベントが実施され、８，１６１人が参加した。

連絡先

農林水産部 森林・林業総室 森林づくり推進室 電話0857-26-7335

参考URL

鳥取県森林・林業総室のwebサイトより
「緑化・県民参加の森づくり」
http://www.pref.tottori.lg.jp/dd.aspx?menuid=100544

▲ページ上部に戻る

個人情報保護 | リンク | 著作権 | アクセシビリティ

鳥取県生活環境部環境立県推進課
住所　〒680-8570 鳥取県鳥取市東町一丁目220番地
電話 0857-26-7205　 ファクシミリ 0857-26-8194
E-mail kankyourikken@pref.tottori.jp

現在の位置：環境立県推進課 → 鳥取県環境白書 → 平成22年度 →12 鳥取方式の芝生化促進事業

もどる

1. すべての主体の連携・協働による環境立県

1.3環境立県県民運動の推進

12 鳥取方式の芝生化促進事業

施策

1　事業の背景・目的
　校庭等の**芝生化**には屋外活動の推進、子どもの情緒安定などの様々な効果がある。
しかしながら従来、芝生は高価で管理が難しく、気軽に立ち入りができて親しめるというイメージでとらえられてこなかった。
↓
　現在、鳥取方式の**芝生化**として、場所に応じて最適の芝生（洋芝、和芝）を選択、併せて、住民（関係者）も参加しながら最も効果的・効率的な維持管理を実施する取り組みが進み、全国から注目を集めている。
　このため、鳥取方式を考案したNPO法人グリーンスポーツ鳥取（GST）と連携し、鳥取方式の**芝生化**に県として総合的に取り組み、鳥取方式の発祥の地にふさわしい**芝生化**先進県を目指す。
　鳥取方式の芝生化に県として積極的に取組み、鳥取方式の発祥の地にふさわしい芝生化先進県を目指す。

2　事業内容
　子どもが自由に運動したり、遊んだりする保育園・幼稚園の園庭、小学校・中学校・高等学校・特別支援学校の校庭、広場（公園、空き地も含む）の**芝生化**を様々な主体と連携しながら加速的に進める。
（1）県民への情報発信、普及啓発
　・鳥取方式の芝生化を考えるシンポジウムの開催
　・市町村や学校、施設関係者、県民の理解の促進（平成21年度に作成した芝生化パンフレットやDVDの活用など）
（2）県施設での芝生化の促進
　・GST（NPO法人グリーンスポーツ鳥取）と連携して、目的に合致する県施設での**芝生化**に積極的に取り組み、適切な初期コストで、後の維持管理のしやすい**芝生化**の導入手法を選択していく。
（3）芝生化の支援
　・私立保育所・幼稚園及び小中学校を対象に、鳥取方式の発祥の地にふさわしい**芝生化**に取り組むものへの支援を行う。
（4）プロジェクトチームでの芝生化の促進
　・庁内関係課に加え、GSTが技術アドバイザーとして参画したプロジェクトチーム（H21）において、鳥取方式の**芝生化**の推進に部局横断的に取り組む。

鳥取市松保保育所

実績

<校庭・園庭芝生化支援>

〇保育所・幼稚園園庭芝生化事業
（対象：私立幼保、安心こども基金活用）
実施箇所数　10園
（内訳）鳥取市:5、倉吉市:3、米子市:2
※技術指導　NPO法人グリーンスポーツ鳥取
〇小学校校庭芝生化モデル事業
実績なし

<啓発・PR>

〇　にっぽん芝生化大作戦inとっとり開催
（H22.11.2-3、@コカ・コーラウエストスポーツパーク）
〇 園庭芝生化説明会開催(H22.4.22-23、東西部各1回開催)
〇 校庭芝生化講習会開催(H22.9.30、美保小)

<ネットワーク構築>

〇 「鳥取方式の芝生化全国サポートネットワーク」設立支援

連絡先

未来づくり推進局鳥取力創造課　電話　0857-26-7070

参考URL

鳥取県鳥取力創造課のwebサイトより
「鳥取方式の芝生化の促進」
http://www.pref.tottori.lg.jp/dd.aspx?menuid=119463

鳥取県生活環境部環境立県推進課
住所　〒680-8570 鳥取県鳥取市東町一丁目220番地
電話　0857-26-7205　ファクシミリ　0857-26-8194
E-mail　kankyourikken@pref.tottori.jp

1. すべての主体の連携・協働による環境立県

1.4大学との連携

01 鳥取県環境学術研究振興事業

施策

1 事業の目的
本県の環境の保全及び快適な環境の創造に関する政策の推進に資することを目的に、県内の高等教育機関が取り組む環境に関する学術研究に対して助成する。

2 事業内容
鳥取県環境学術研究基金の運用益により、鳥取環境大学をはじめとした県内高等教育機関における環境に関する学術研究に対する助成等。
（1）財源　鳥取県環境学術研究基金の運用益（平成11年3月設置　約30億円）
（2）開始年度　平成13年度
（3）対象機関　鳥取大学、鳥取環境大学、鳥取短期大学、米子工業高等専門学校
（4）助成額（予算額）　43,000千円
（5）成果の公表
「鳥取産業フェスティバル（2010）」でH21年度に実施した研究成果の発表を行う予定。

実績

平成22年度実績
鳥取県環境学術研究基金の運用益により、鳥取環境大学をはじめとした県内高等教育機関における環境に関する学術研究に対する助成等を行った。49件の応募に対し、30課題、総額42,089千円の助成を行った。
本事業で助成を行った平成21年度助成課題の研究成果の発表について、「とっとり産業フェスティバル2010」（平成22年9月3日、4日　米子コンベンションセンター）で実施した。

1-4-01ポスター発表要旨.xdw

連絡先

企画部・教育・学術振興課・高等教育・学術振興担当・0857-26-7814

参考URL

鳥取県教育・学術振興課のwebサイトより
「環境学術」
http://www.pref.tottori.lg.jp/dd.aspx?menuid=30107

1. すべての主体の連携・協働による環境立県

1.4大学との連携

02 持続可能な地下水利用検討事業

施策

1 事業の目的
大山南西麓、鳥取平野における地下水の貯留量や水収支の現状、地下水の流動機構の把握を行い、持続可能な地下水利用のあり方を検討する。

2 背景、現状、及び課題
大山周辺地域に大量に地下水を採取する企業が相次いで進出したことに関連し、地下水資源の枯渇や農業用水など他の利水への影響が危惧されている。
鳥取平野では地下水採取による地盤沈下が既に生じている。(現在は沈静化)
大切な資源である地下水を、環境を保全した上で有効に利用していくためには、現状の水位、貯留量などを把握したうえで、持続可能な地下水利用のシステムを構築する必要がある。

3 事業の内容
鳥取大学との共同研究で得られた大山南西麓及び鳥取平野の水収支に関する成果をもとにして、関係機関、専門家を交えた制度検討会を設置し、持続可能な地下水利用に向けた制度検討を行う。

実績

平成22年度実績

1 持続可能な地下水の利用に向け、地下水利用の現状把握、届出等に係る制度設計を検討することを目的に、行政機関を構成員とする検討会を平成23年1月13日に設置し、平成22年度中に計3回の検討会を実施した。
2 大山南西麓の水収支を把握するため、山麓に設置している地下水位観測井戸、降水量計、融雪水量計、河川水位計により引き続き観測を実施した。
3 鳥取平野の水収支を把握するため、引き続き地下水位の観測等を行った。

連絡先

生活環境部 水・大気環境課 水環境保全室 電話0857-26-7197

参考URL

水・大気環境課のwebサイトから
「水・大気環境課」
http://www.pref.tottori.lg.jp/dd.aspx?menuid=4596